

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成8(1996)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|--------------|-----------|
| 01 単行本 | 20 産婦人科史 |
| 02 医学切手・書画 | 21 菌学史 |
| 03 医学教育 | 22 史跡・記念碑 |
| 04 医学用語 | 23 疾病史 |
| 05 医師会・学会 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 06 医史学一般 | 25 種痘史 |
| 07 医の倫理 | 26 獣医学史 |
| 08 医療器械 | 27 書簡 |
| 09 医療制度史・医療史 | 28 書誌学 |
| 10 衛生・公衆衛生史 | 29 小児科史 |
| 11 解剖学史 | 30 神経学史 |
| 12 眼科史 | 31 診断学史 |
| 13 看護史 | 32 整形外科史 |
| 14 寄生虫学史 | 33 精神医学史 |
| 15 教室史 | 34 生物学史 |
| 16 軍陣医学史 | 35 西洋医学史 |
| 17 形成外科学史 | 36 生化学史 |
| 18 外科史 | 37 生理学史 |
| 19 細菌学史 | 38 地方史 |

- | | |
|-------------|-----------------|
| 39 治療史 | 52 法医学史 |
| 40 伝記 | 53 放射線医学史 |
| 41 伝記(双) | 54 本草学史・博物学史 |
| 42 伝染病史・防疫史 | 55 麻醉学史 |
| 43 東洋医学史 | 56 門人録 |
| 44 内科史 | 57 薬学史 |
| 45 皮膚科史 | 58 蘭学史 |
| 46 泌尿器科史 | 59 リハビリテーション関係史 |
| 47 病院史 | 60 検査 |
| 48 病跡学 | 61 その他 |
| 49 病理学史 | 62 中国語文献 |
| 50 風俗史 | 63 韓国語文献 |
| 51 仏教医学史 | 64 欧文文献 |

今回は14、15、17、34、36、46、48、49、50、56にあたる文献はありません。

01 単行本

石島弘『水戸藩医学史』ぺりかん社

石田純郎『ヨーロッパ医科学史散歩』考古堂

岩崎克己／解説 片桐一男『前野蘭化1—解体新書以前 東洋文庫600』平凡社

岩崎克己／解説 片桐一男『前野蘭化2—解体新書の研究 東洋文庫604』平凡社

大谷藤郎『らい予防法廃止の歴史』勁草書房

唐沢信安『済生学舎と長谷川泰 一野口英世や吉岡弥生の学んだ私立医学校』日本医事新報社
韓国韓医学研究所『高麗時代 以前 韓医学 研究(資料集)』KIOM韓国韓医学研究所
韓国韓医学研究所『歴代 韓医学 文献 考証1』KIOM韓国韓医学研究所
韓国韓医学研究所『歴代 韓医学 文献 考証1(資料集)』KIOM韓国韓医学研究所
圭介文書研究会『伊藤圭介日記第二集『錦窠翁日記』』名古屋市東山植物園
小関恒雄『明治法医学編年資料断章』玄同社
小曾戸洋『中国医学古典と日本 一書誌と伝承一』塙書房
シーボルト記念館『鳴滝紀要第6号(シーボルト生誕二百周年記念号)』
新村拓『出産と生殖観の歴史』法政大学出版会
杉田暉道他『系統看護学講座別巻9 看護史』医学書院
東京大学医学部医学科昭和17年十月会『陽鳥第5号(卒業50周年記念文集)』
中野進『新・医師の世界—その社会学的分析—』勁草書房
中山茂春『久留米藩医中山家系図』
二至村菁『エキリ物語 GHQと日本の医師たち』中央公論社
日本医科大学耳鼻咽喉科学教室『日本医科大学耳鼻咽喉科学教室百年史』
樋口輝雄『明治前期における医師試験制度と奉職履歴医につ

いて』
藤野豊編、小林茂文、鈴木則子、後藤悦子『歴史のなかの「癩者」』ゆみる出版
フロレンス・ナイチンゲール／小林章夫・竹内喜(訳)『看護覚え書き』うぶすな書院
北海道医史学研究会『北海道の医療 その歩み』北海道医史学研究会
山県郡医師会史編纂委員会『広島県山県郡医師会史(上)』山県郡医師会
山崎岐男他『X線発見の光と影』日本シェーリング
山崎一穎(監修)『森鷗外 明治知識人の歩んだ道(注記共)』森鷗外記念館
吉益東洞顕彰碑建設会『吉益東洞顕彰記』

02 医学切手・書画

「メディカル・フィラテリー 牛痘種痘実施百二十年切手、第6回国際ウイルス学会議、シーボルト生誕二百年記念」石原理年『医譚』(70)4104, 4138, 4157
「絵ハガキで見るパリの古い病院(2)ピティエ病院」今泉孝『医譚』(70)4156
「絵ハガキで見るパリの古い病院(3)シャリテ病院(パリ6区)」今泉孝『医譚』(71)4210-4212
「医学切手アラカルト HIV」河瀬正晴『ふゅーちゃー』1(1)19
「医学切手アラカルト エイズ予防と Condom」河瀬正晴

『ふゅーチャー』1(2)19
「蘭門五哲の書幅(抄) 小曾戸洋、町泉寿郎『日本医史学雑誌』42(2)196-197
「JJN Gallery①病める少女と脈を診る医者(ヤン・ステーン画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(1)6
「JJN Gallery②病める子ども(ガブリエル・メッツ画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(2)102-103
「JJN Gallery③思慮深い看護婦(ジャン＝パティスト＝シメオン・ジャルダン画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(3)198-199
「JJN Gallery④春(エドワルド・ムンク画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(4)294-295
「JJN Gallery⑤手にジキタリスの花を持つ医師ガシェの肖像(ヴァンセント・ヴァン・ゴッホ画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(5)390-391
「JJN Gallery⑥ルノワール夫人と息子ピエール(オーギュスト・ルノアール画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(6)494-495
「JJN Gallery⑦病める子(エドワルド・ムンク画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(7)582-583
「JJN Gallery⑧アグニューの臨床講義(トマス・イーキンス画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(8)678-679
「JJN Gallery⑨乳母(アルフレッド・P・ロール画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(9)774-775
「JJN Gallery⑩外科手術(葛揆一郎画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(10)870-871

「JJN Gallery⑪科学と慈愛(パブロ・ピカソ画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(11)974-975
「JJN Gallery⑫病室での臨終(エドワルド・ムンク画)」酒井シヅ『看護学雑誌』60(12)1066-1067
「絵でみる医学史⑤エペソのソラノス(98-138)」酒井シヅ『Pharma SANDOZ』(1)21
「絵でみる医学史⑥ディオスコリデスとガレノス」酒井シヅ『Pharma SANDOZ』(2)21
「絵でみる医学史⑦4つの体液と体質と気質」酒井シヅ『Pharma SANDOZ』(3)17
「絵葉書にみる日赤」長門谷洋治『北陸医史』17(1)67-73
「多紀元堅の墨跡(抄) 町泉寿郎、小曾戸洋『日本医史学雑誌』42(1)109-110
「切手のなかの看護婦たち①-②最初の看護婦フローレンス・ナイチンゲール(1)-(2)」松本邦宏『看護学雑誌』60(1-2)1, 97
「切手のなかの看護婦たち③看護婦の誕生」松本邦宏『看護学雑誌』60(3)193
「切手のなかの看護婦たち④戦場で活躍する看護婦」松本邦宏『看護学雑誌』60(4)289
「切手のなかの看護婦たち⑤ベッドサイドの看護婦」松本邦宏『看護学雑誌』60(5)385
「切手のなかの看護婦たち⑥患者を搬送する看護婦」松本邦宏『看護学雑誌』60(6)489

「切手のなかの看護婦たち⑦検温や脈をとる看護婦」松本邦宏『看護学雑誌』60(7)577

「切手のなかの看護婦たち⑧心電図や血圧測定をする看護婦」松本邦宏『看護学雑誌』60(8)673

「切手のなかの看護婦たち⑨投薬をする看護婦」松本邦宏『看護学雑誌』60(9)769

「切手のなかの看護婦たち⑩包帯をする看護婦」松本邦宏『看護学雑誌』60(10)865

「切手のなかの看護婦たち⑪注射の準備をする看護婦」松本邦宏『看護学雑誌』60(11)969

「切手のなかの看護婦たち⑫注射をする看護婦」松本邦宏『看護学雑誌』60(12)1061

03 医学教育

「明治廿六年医科大学国家医学講習科実録(学生記録)(抄)」石崎達『日本医史学雑誌』42(2)256-257

「医学部における生物学 その歴史と現在」岡田光太郎『順天堂医学』42(2)162-169

「財団法人・日本医学専門学校の学校騒動と私立東京医学専門学校の独立分離(上)・(下)」唐沢信安『日本医史学雑誌』42(3, 4)303-322, 547-562

「財団法人・日本医学専門学校の学校騒動と私立東京医学専門学校の独立分離(抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』42(2)252-253

「一八八八年の医学校処分について(抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』42(2)250-251

04 医学用語

「ことばの由来 65 ハプスブルグ顔貌」飯田収『Johns』12(9)1418-1423

「ことばの由来 66 東洋と西洋」岩月賢一『Johns』12(12)1832-1834

05 医師会・学会

「医学会とその歴史」大村敏郎『医薬の門』36(4)222-226

「日本消化器病学会発足の頃(抄)」大村敏郎『日本医史学雑誌』42(2)240-241

「第13回日本医学会総会について(その1)(抄)」渋谷敏、山口秀紀、渋谷幸男、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(3)154-155

「第13回日本医学会総会について(その2)(抄)」渋谷敏、山口秀紀、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(3)155-156

「日本細菌学会の創立と発展および日本細菌学雑誌の歴史 日本細菌学会の発足からの半世紀(1)」竹田美文『日本細菌学雑誌』51(2)635-646

「日本大腸肛門病学会の歴史と今後の展望」土屋周二『日本大腸肛門病学会雑誌』49(10)1137-1145

- 「脊椎外科学会10年の歴史,脊柱靱帯骨化症研究の歩み」都築暢之『整形外科』47(9)1227-1236
- 「北米放射線学会の歴史(年代記-11<1976~1980>)」乙供通則、竹川鉦一、菅原耕、他『青森労災病院医誌』6(1)50-58

06 医学一般

- 「医学史と旅(5)パレ400年祭の旅」大村敏郎『けんさ』25(3/4)46-57
- 「医療と歴史との接点を求めて 帝王切開で産まれた医神アスクレピオス」大村敏郎『医薬の門』36(1)16-19
- 「医療と歴史との接点を求めて ダヴィッド・ダンジェーの刻んだ医学史」大村敏郎『医薬の門』36(2)114-117
- 「医療と歴史との接点を求めて 北里柴三郎と鯉のぼり 熊本・小国で見たもの」大村敏郎『医薬の門』36(3)142-145
- 「原始巫医の世界的普遍性の考察(抄)」奥富敬之『日本医学雑誌』42(2)160-161
- 「世界と日本の女医の動向」酒井シヅ『病院』55(5)432-436
- 「伝統医学と近代医学の接点」酒井シヅ『ヒューマンサイエンス』7(2)24-27
- 「着想としての内視鏡」多賀須幸男『日本医学雑誌』42(3)440-442
- 「ストレス概念の歴史」土屋雅春、鈴木秀和『医学のあゆみ』別冊(ストレス応答とレドックス制御)9-13
- 「日本における一般医学の歴史と現状」Hayasaki Tomoyuki,

- Koizumi Shunzo『International Medical Journal』3(3)199-200
- 「ハンセン病とダミアン神父(2)」古川明『けんさ』25(3/4)29-32
- 「エフェソス遺跡」古川明『けんさ』26(1)19-22
- 「メドウサの頭(1)」古川明『けんさ』26(2)19-22
- 「植民地期の台湾女医について」游鑑明/金丸裕一(訳)『歴史評論(歴史科学協議会 校倉書房発売)』(532)

07 医の倫理

- 「米国ニューヨーク州歯科医師法に含まれる倫理規定の書誌学的研究(抄)」春日芳彦、森山徳長、亀谷博昭、石川達也『日本歯科医学會々誌』21(3)161
- 「医の心—先輩医師に学ぶ 第2集」酒井シヅ『日本医師会雑誌』115(6)2-16
- 「再考インフォームド・コンセント インフォームド・コンセントの歴史を振り返る」酒井忠昭『ナーシング・トゥデイ』11(2)22-25
- 「患者の心性と権利についての歴史的考察 患者学序章」杉田暉道『アーユルヴェーダ研究』(26)2705-2711
- 「患者の心性と権利についての歴史的考察 患者学序章」杉田暉道『神奈川医学会雑誌』23(2)177-183
- 「『頓医抄』にみる鎌倉時代・僧医の倫理観」関根透、北村中也『日本歯科医療管理学会雑誌』31(2)121-126
- 「インフォームド・コンセントの歴史」寺山吉彦『JOHNS』12(8)1029-1031

08 医療器械

「我が国の顕微鏡の歴史—和田医学史料館所蔵の顕微鏡の歴史—(抄)」和田和代史『日本医史学雑誌』42(2)270-271

09 医療制度史・医療史

「医界雑録 34・35 医術開業試験と幻の「医師規則」案」青柳精一『大阪保険医雑誌』23/24(12/1)44・41

「医界雑録 36 明治初期の腸チフスの療法」青柳精一『大阪保険医雑誌』24(2)35

「医界雑録 37・38 医籍の編製と著名な医師の医籍番号」青柳精一『大阪保険医雑誌』24(3,4)53,57

「医界雑録 39 明治10年から20年代の医会設立の動き」青柳精一『大阪保険医雑誌』24(5)47

「文化史からみた古代人の医療観 第1回 ギリシャ神話の医療観 メドウサの頭(2)」石渡隆司『けんさ』26(3)24-33

「輸血と法 制度史のなかから」宇都木伸『日本輸血学会雑誌』42(1)55-57

「江戸幕府の医療制度に関する資料(七)—鍼科医員上田・吉田・山本・畠山家『宮医家譜』」香取俊光『日本医史学雑誌』42(1)87-93

「江戸幕府の医療制度に関する史料(八)—鍼科医員佐田・増田・山崎家『宮医家譜』など—」香取俊光『日本医史学雑誌』42(4)615-626

「戦時医療体制と「戦後改革」」神谷昭典『医学史研究』

(69) 1-4

「特集：「戦後50年の医学と医療」要望課題「戦後50年の医学と医療」を始めるにあたって」神谷昭典『医学史研究』(70)9-10

「医療記録の歴史」篠田達明『診療録管理』8(3)22-25

「占領期の保健医療改革の計量的分析 GHQ文書を用いて」杉田聡、他『民族衛生』62(付録)118-119

「日本プロテスタント・ミッション医療伝道の方針転換についての一考察(抄)」高安伸子『日本医史学雑誌』42(2)212-213

「特集：「戦後50年の医学と医療」戦後50年の医学と医療—開業医の立場から—」竹内治一『医学史研究』(70)11-14

「戦後沖縄の医療史—医療制度の変遷を中心に」照屋寛善『医学史研究』(69)5-11

「20世紀医療史(13)差別と医学」野村拓『月刊保団連』(493)66-67

「20世紀医療史(14)人口政策と民俗衛生」野村拓『月刊保団連』(494)50-51

「20世紀医療史(15)医療経済調査」野村拓『月刊保団連』(497)46-47

「20世紀医療史(16)一般医と専門医」野村拓『月刊保団連』(502)50-51

「20世紀医療史(17)世界医恐慌と医療」野村拓『月刊保団連』(507)74-75

「20世紀医療史(18)保健医療・「戦闘期」の動向」野村拓

『月刊保団連』(510)46-47
「20世紀医療史(19)ワイマールからナチへ」野村拓『月刊保団連』(511)50-51
「20世紀医療史(20)地域医療への関心」野村拓『月刊保団連』(515)46-47
「20世紀医療史(21)私保険・生協・HMO」野村拓『月刊保団連』(517)46-47
「20世紀医療史(22)ファシズムと安楽死、そして医療」野村拓『月刊保団連』(521)42-43
「20世紀医療史(23)同時進行医療史・1939年」野村拓『月刊保団連』(523)54-55
「20世紀医療史(24)医療への国家介入」野村拓『月刊保団連』(525)50-51
「20世紀医療史(25)医療にとって第二次大戦とは」野村拓『月刊保団連』(527)54-55
「『元禄世間咄風聞集』所載の医薬学関連の咄」浜田善利『日本医史学雑誌』42(4)563-580
「近代医療史 ドイツ医学の隆盛」原健二『地域医学』10(2)102-105
「近代医療史 公衆衛生と保健事業」原健二『地域医学』10(3)183-188
「近代医療史 昭和前半の日本の医療概況」原健二『地域医学』10(4)254-257
「近代医療史 アシドーシスとアルカローシス」原健二『地

域医学』10(5)349-352
「近代医療史 適塾の医療と門下生の活躍」原健二『地域医学』10(6)448-451
「近代医療史 糖尿病治療薬の発明」原健二『地域医学』10(7)523-526
「近代医療史 昭和前半の世界の医学・医療」原健二『地域医学』10(9)642-645
「近代医療史 わが国における病院の建設」原健二『地域医学』10(10)729-732
「近代医療史 ノーベル賞級の日本人医師たち」原健二『地域医学』10(11)788-791
「明治前期における医師試験制度と奉職履歴医について(抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』42(2)248-249
「医療過誤訴訟とは 歴史から具体的進行まで」深谷翼『看護』48(5)135-141
「明治女医史の基礎的研究(抄)」三崎裕子『日本医史学雑誌』42(2)254-25

10 衛生・公衆衛生史

「黎明期の労働衛生史<126>「生糸」に生きた人びと ヨコハマ開港⑦世界市場」乾修然『労働衛生ジャーナル』(236)6
「黎明期の労働衛生史<127>「生糸」に生きた人びと 機械化への道①養蚕」乾修然『労働衛生ジャーナル』(237)5
「黎明期の労働衛生史<128>「生糸」に生きた人びと 機械化へ

の道②繰糸」乾修然『労働衛生ジャーナル』(238)3
 「黎明期の労働衛生史〈129〉「生糸」に生きた人びと 機械化への道③速水堅曹」乾修然『労働衛生ジャーナル』(239)5
 「黎明期の労働衛生史〈130〉「生糸」に生きた人びと 機械化への道④洪沢栄一」乾修然『労働衛生ジャーナル』(240)6
 「黎明期の労働衛生史〈131〉「生糸」に生きた人びと 機械化への道⑤ブリューナ」乾修然『労働衛生ジャーナル』(242)6
 「黎明期の労働衛生史〈132〉「生糸」に生きた人びと 機械化への道⑥尾高惇忠」乾修然『労働衛生ジャーナル』(243)6
 「黎明期の労働衛生史〈133〉「生糸」に生きた人びと 機械化への道⑦横田英(上)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(245)6
 「造船労働にともなう石綿曝露労働者の歴史的コーホート研究(第三報) 死因分析」車谷典男、他『産業衛生学雑誌』38(臨増)436
 「造船労働にともなう石綿曝露労働者の歴史的コーホート研究(第一報) 対象者の属性と生存者の健康状況」坂本理香、他『産業衛生学雑誌』38(臨増)434
 「越後屋の養生思想—三井家の具体策—」中西淳朗『忠田会誌』(6)1-17
 「不潔の水を善水にする法—スエーデン法は正しいか—(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』42(1)114-115
 「造船労働にともなう石綿曝露労働者の歴史的コーホート研究(第二報) 石綿曝露状況の推定」名取雄司、他『産業衛生学雑誌』38(臨増)435

「海上の勤務をはなれて—戦時中結核療養体験記—」西部徹一『労働の科学』51(8)545-550
 「これからの母子保健 日本の公衆衛生がたどってきた歴史と保健所の役割を中心に」西牧謙吾、新平鎮博『大阪市立大学生活科学部紀要』43,253-270
 「〈書庫散歩〉生きている災害史年表—温故知新—」野沢浩『労働の科学』51(8)542-543
 「働く人の病気(92)レイノー症候群—手指の蒼白発作」野村茂『労働の科学』51(1)42-43
 「働く人の病気(93)有機水銀中毒—メチル水銀など—」野村茂『労働の科学』51(2)90-91
 「働く人の病気(94)職業性皮膚障害のこと—とくに接触皮膚炎」野村茂『労働の科学』51(3)174-175
 「働く人の病気(95)作業関連疾患のこと—疾病の多要因性」野村茂『労働の科学』51(4)226-227
 「労働者に健康を① (1)労働衛生という言葉について」橋本重遠『労働衛生ジャーナル』(241)6
 「労働者に健康を② (2)労働衛生と産業衛生」橋本重遠『労働衛生ジャーナル』(242)5
 「水俣病は終わらない—40年目の解決案について—」原田正純『労働の科学』57(4)250-253
 「見捨てられたいわゆる「シベリア珪肺」」松藤元『労働の科学』51(4)266-270

「保健を科学する 医学史のなかの保健と健康」丸井英二
『保健の科学』38(10)654-658

「〈続サテライト通信〉(72)16日間水も飲まずに生きた韓国女性」三浦豊彦『労働の科学』51(1)24-25

「〈続サテライト通信〉(73)ロサンゼルスギャング関係の殺人」三浦豊彦『労働の科学』51(2)118-119

「〈続サテライト通信〉(74)紫外線と男の皮膚」三浦豊彦『労働の科学』51(3)158-159

「〈続サテライト通信〉(75)1991年のロンドンの大気汚染事件」三浦豊彦『労働の科学』51(4)264

「〈続サテライト通信〉(76)ゆびの分かれたスニーカー」三浦豊彦『労働の科学』51(5)328-329

「〈続サテライト通信〉(77)こっくり(狐狗狸)さん」三浦豊彦『労働の科学』51(6)378-379

「〈続サテライト通信〉(78)水鳥と鉛散弾」三浦豊彦『労働の科学』51(7)458-459

「〈続サテライト通信〉(79)補聴器」三浦豊彦『労働の科学』51(8)510-511

「〈続サテライト通信〉(80)狂牛病はプリオン病か」三浦豊彦『労働の科学』51(9)604-605

「〈続サテライト通信〉(81)大戦末期の岩波書店と労研」三浦豊彦『労働の科学』51(10)658

「〈続サテライト通信〉(82)医学生喫煙」三浦豊彦『労働の科学』51(11)722-723

「〈続サテライト通信〉(83)アトランタ五輪の聖火リレー」三浦豊彦『労働の科学』51(12)790-791

「労働観私論(XI)―聞き書き労働観(3)：鉄鋼業の労働者―」三浦豊彦『労働科学』72(5)167-179

「労働観私論(XII)―聞き書き労働観(4)：海女」三浦豊彦『労働科学』72(9)350-359

「労働衛生史話・あまり知られていない江戸時代のじん肺」吉野貞尚『労働の科学』51(2)52-55

「労働衛生史話・明治期の囚人採炭夫のじん肺」吉野貞尚『労働の科学』51(4)260-263

「労働衛生史話・明治・大正時代の労働医学と陸軍軍医」吉野貞尚『労働の科学』51(6)407-409

「労働衛生史話・江戸時代のじん肺考」吉野貞尚『労働の科学』51(7)476-479

「労働衛生史話・「労働で死ぬものはない」マーチン・ルターの労働観」松藤元『労働の科学』51(11)741-743

「労働衛生史話・明治時代のじん肺考」吉野貞尚『労働の科学』51(12)830-833

11 解剖学史

「虞列伊氏解剖蒙図と解剖摘要図について」岩治勇一『北陸医史』17(1)23-29

「解體新書と脈管」大城孟『日本外傷学会雑誌』10(2)115-117

「足立文太郎教授の解剖学教科書」島田和幸『解剖学雑誌』

71(2)133-134

「江戸時代における解剖の事跡」改訂について」杉立義一『啓迪』(14)1-5

「新しい観点からみた器官 脳室—特に睡眠に関連して」早石修『生体の科学』47(4)318-323

「脳を固める・切る・染める—先人の知恵—」萬年甫『BRAIN MEDICAL』8(1-4)77-80, 199-203, 309-314, 441-445

12 眼科史

「日本眼科学會雑誌からみた日本の眼科100年 「論文総覧データベース」の制作と活用 疾病」大庭紀雄他『日本眼科学会雑誌』100(臨増)238

「眼科医家系の行徳家及びその周辺」善義信『忠田会誌』(6) 57-67

「学説・診療の変遷 白内障手術の歴史 顕微鏡手術の開発」三島濟一『臨床科学』32(12)1629-1636

13 看護史

「救急看護の歴史と課題 基礎教育における救急看護学教育の必要性」明石恵子、今村明美、杉本陽子、他『エマージェンシー・ナーシング』9(9)849-854

「歴史的にみる救急看護の発展と課題」明石恵子、柘植尚子、米丸香里、他『エマージェンシー・ナーシング』9(8)749-753

「助産婦の歴史(149)－(160)」石原力『ベリネイタルケア』15(1-12)74-75, 150-152, 270-271, 362-363, 414-415, 525-527, 590-591, 726-727, 790-791, 860-861, 994-995, 1074-1075

「救急看護の歴史と課題 救急看護の専門化が始まった時期(昭和50～59年)」今村明美、岡部充代、谷井康子、他『エマージェンシー・ナーシング』9(6)596-599

「『看病用心鈔』に見られる終末期看護」上野陽里『医学史研究』(68)252-257

「日本におけるナースキャップの歴史と時代背景」大坪よし子『ナースデータ』17(9)83-85

「私が見聞した看護の歴史」大森文子『看護』48(1, 2, 3, 5, 6, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 15)115-121, 134-139, 113-119, 113-120, 147-154, 129-135, 113-119, 114-121, 128-133, 115-121, 117-125, 100-106

「専門看護師・認定看護師制度の全容 特定に至る経緯を振り返って 精神看護 精神看護分野でのCNS教育の歴史と精神看護専門看護師の意義」岡谷恵子『看護』48(6)54-57

「私立大日本婦人衛生会について大正3年より大正4年の動向」亀山美知子『日本看護研究学会雑誌』19(3)44-45

「わが国における看護士養成の歴史と現状」北島謙吾『こころの臨床ア・ラ・カルト』15(1)43-47

「専門看護師・認定看護師制度の歴史的経緯」鈴木文江『看護』48(6, 14)34-41, 26-33

「ヨーロッパ及び日本における助産婦の「生」へのかかわり

の歴史的考察」田母神裕美、尾崎暢希『助産婦雑誌』50(12)1013-1021

「救急看護の歴史と課題 専門領域としての自立(昭和60年～)」柘植尚子、岡部充代、杉本陽子『エマージェンシー・ナーシング』9(7)682-686

「特集：「戦後50年の医学と医療」准看護婦問題とはなにか」長門谷洋治『医学史研究』(70)20-22

「近年の訪問看護の歴史 制度化の経緯を中心に」野村陽子『訪問看護と介護』1(5)344-350

「「看護」という言葉の使用のはじめ(第1報)—看護という言葉はいつから使われるようになったか—(抄)」平尾真知子『日本医史学雑誌』42(2)268-269

「臨床研究におけるボディ・イメージ概念の成り立ちに関する歴史的検討」藤崎郁『看護研究』29(2)149-160

「看護教育における一般教育科目の位置づけと歴史的考察」藤村龍子『Quality Nursing』2(8)648-659

「慈恵病院派出看護婦考」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』111(1)109-122

「看護業務基準の見直し 不可欠な看護業務基準 精神科看護の歴史を振り返って」矢野真二『看護』48(2)75-86

「救急看護歴史と課題 看護行為の拡大の時期(昭和40～49年)」米丸香里、今村明美、小島照子『エマージェンシー・ナーシング』9(5)500-503

16 軍陣医学史

「海軍航空医学の歴史」加辺純雄『防衛衛生』43(4)101-104

「海軍潜水艦医学の歴史」加辺純雄『防衛衛生』43(2)33-36

「軍事医学と軍医の歴史」加辺純雄『防衛衛生』43(Suppl.1)1-7

「病院船水川丸回顧(抄)」鈴木衛『神奈川医学会雑誌』23(2)397

「『鎮将府日誌』について(その1 序説)(抄)」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』23(1)161

「横浜軍陣病院の介抱女(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』42(4)656-657

18 外科史

「血管外科の歴史」Yasargil M.Gazi『脈管学』36(9)554-555

「外科史のプロムナード 第96回日本外科学会総合特別展示 パネルで見る外科の歴史」磯野可一『日本外科学会雑誌』97(8)663-682

「大動脈外科発展の歴史と基本的手術手技」川田志明『ハートナーシング』1996秋季(増刊)64-72

「MGHで行われた50年間の乳癌手術成績」酒井シヅ『Mamma』(25)表2

「Billrothの乳癌の手術」酒井シヅ『Mamma』(23)表2

「九州大学蔵の「阿蘭陀伝外科類方」(「阿蘭陀外科正伝」と向井元升について) ヴォルフガング・ミヒエル『比較社会文化』2, 75-79

「カスパル・シャムベルケルと「カスパル流外科」(上)・

(下) ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』42(3, 4)323-348, 521-546

「原典・古典の紹介 ロボトミー」古川哲雄『神経内科』45(2)170-174

「ストーマ手術とボディイメージ研究の歴史の変遷」前川厚子『STOMA』7(4)167-169

「消化器手術への血管外科の応用 歴史的背景と展望」三島好雄、伊藤雅史『手術』50(6)737-744

「不破家華岡流手術記録の検討」山内一信、不破洋『日本医史学雑誌』42(1)61-76

19 細菌学史

「埼玉県立がんセンターにおけるMRSA分離の歴史」新井和明、他『埼臨技会誌』43(2)185

20 産婦人科史

「足立長雋の訳書『産科礎』の成立年代(抄)」石原力『日本医史学雑誌』42(2)226-227

「古典あれこれ 産褥熱の予防法の発見から手術における防腐法・無菌法の発見まで」犬山征夫『Johns』12(6)858-865

「妊婦スポーツの歴史と実際」越野立夫、中井章人『臨床スポーツ医学』13(3)241-246

「産婦人科医学史〈3〉新生児のスワドリング」酒井シヅ『The Female Patient』9(1)巻末

「産婦人科医学史〈4〉いわた帯」酒井シヅ『The Female Patient』9(2)巻末

「出生の季節変動と受胎調節(抄)」新村拓『神奈川医学会雑誌』23(1)161

「一九世紀アメリカ非正統医療における癒し・出産・自己形成—植物治療運動と水治療運動—(抄)」鈴木七美『日本医史学雑誌』42(1)106-107

「HPVと子宮頸癌 その歴史と展望」滝沢憲、川名尚『産婦人科の実際』45(3)251-257

「保健指導の意義と歴史的推移」竹村喬、中島有加理、山地建二、他『バリネイタルケア』1996夏季(増刊)14-24

21 歯学史

「医学及び歯科医学の歴史 概要 史上の人々(II) 中世・近世」石橋真澄『日本臨床歯内療法学会雑誌』17(1)9-16

「日本における矯正書の歴史的考察(その1) 明治・大正・昭和期の幻の名著を原著や複製本で展示」大野肅英、他『日本臨床矯正歯科医会雑誌』7, 90

「第1回ムシ歯予防デーの新聞記事(抄)」加來洋子、石橋肇、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(3)138

「変革期を迎えた歯科医療と空前の保険医療制度改革 “医制120年、厚生省創設50年の歴史のなかで最大の改革”の意味するもの」川原邦彦『歯界展望』87(5)1068-1073

「照内昇著「臨床歯科レントゲン学大要」について(抄)」佐

久間優、村木春長、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(3)153

「[「太平聖恵方」における口腔乾燥症治療について(抄)]」佐藤恭道、別部智司、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』21(3)150

「東京歯科大学所蔵稀覯本洋書「伊澤家文庫」の書誌学的研究(そのII)分類の整備および目録の完成(抄)」塩津二郎、森山徳長、春日芳彦、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』21(3)142-143

「ヨーロッパの中世・近世医療および19世紀米国内科歯科医療における医用蛭の応用の研究(抄)」塩津二郎、森山徳長、高崎一郎『日本歯科医史学会々誌』21(3)158-159

「日本で最初に開設されたライオン児童歯科院(抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』21(3)139-140

「日本の中世と木床義歯(抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』21(3)157

「明治36年の口腔衛生灯燧(抄)」新藤恵久、長谷川弥『日本歯科医史学会々誌』21(3)140

「日本矯正歯科学会と矯正装置の歴史的考察(その2)」菅原勇、他『日本臨床矯正歯科医会雑誌』7, 91

「異形式の抜歯鉗子、「鉗」の解釈を質す―追悼宗田一先生―」杉本茂春『医譚』(71)35-37

「抜歯 古事記と伝承インド医学の相互補完(抄)」杉本茂春『日本歯科医史学会々誌』21(3)148-149

「明治期歯科医学書の文体・用語法の分析的研究(その2)保歯新論を資料として文体の構成を考える(抄)」高崎一郎、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』21(3)146

「歯牙移植の歴史と歯根膜の創傷の治癒の解明」月光光博『The Quintessence』(別冊歯牙移植の臨床像)10-19

「古代中国の欠歯風習について(抄)」陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌』21(3)159-160

「『袴雑集』歯門の研究(抄)」戸出一郎、佐藤恭道、別部智司、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』21(3)149-150

「A.GysiとB.B.McCollumが顎運動描記装置に用いた弾簧の意義と数学的基盤(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』21(3)151-152

「仏陀の歯相」中原泉『日本歯科医史学会々誌』21(3)195-201

「幻の日本歯科大学九段短期大学(抄)」中原泉『日本歯科医史学会々誌』21(3)154

「特集：「戦後50年の医学と医療」歯科医史抄」西端公敏『医学史研究』(70)15-19

「歯髓の歴史(抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』42(2)188-189

「東京府における明治12年から16年までの医術開業旧試験と歯科専門での受験者」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』21(3)163-194

「明治18年8月刊行の『歯科全書初篇』と訳者河田鱗也について(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』21(3)145-146

「磁性アタッチメントの発展(抄)」平田幹男『日本歯科医史

学会々誌』21(3)150-151

「英語圏における初期歯科医学書発達史に関する考察(その2)Garrison-Mortonの Medical Bibliography1-5版における取扱の変化(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』21(3)161-162

「『病草紙』にあらわれた歯科疾患風俗に関する一考察 第2報(抄)」屋代正幸、藤野丑男、小林一日出、湯浅高行『日本歯科医史学会々誌』21(3)156-157

「高山歯科医学院に始まる東京歯科大学学則の分析的考察(その2)東京歯科医学院学則について(抄)」山岸東太郎、森山徳長、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』21(3)140-141

「小島原泰民著歯科小技について(抄)」山口秀紀、村木春長、渋谷幸男、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(3)144-145

22 史跡・記念碑

「タイ・イサーン(東北地方)のクメール系寺院遺跡見学の旅」石田純郎『医譚』(70)66-67

「バンコク医史跡散歩」石田純郎『日本医事新報』(3786)48-49

「医史跡めぐり『解体新書』の跡を訪ねて」蔵方宏昌『JMC』(59)26-27

23 疾病史

「痛風とその研究の歴史 痛風研究の歴史I」赤岡家雄『高尿酸血症と痛風』4(2)66-70

「痛風とその研究の歴史(第3回)日本・中国の痛風史」赤岡家雄『高尿酸血症と痛風』4(1)111-114

「喘息 施設入院療法の歴史と変遷」赤坂徹『日本小児アレルギー学会誌』10(3)195

「Oral tolerance (GALT)の歴史」朝倉均、佐藤万成『医学のあゆみ』177(5)337-340

「レンサ球菌感染症の変遷 劇症型の出現 レンサ球菌感染症の歴史」飯村達『臨床と微生物』23(1)3-12

「アレルギー研究の歴史(I)戦前篇」石崎達『喘息』9(2)101-105

「アレルギー研究の歴史(II)花粉症と免疫化学の進歩」石崎達『喘息』9(3)113-117

「アレルギー研究の歴史 喘息」石崎達『喘息』9(4)131-135

「ハンセン病 歴史的転換期を迎えた日本のハンセン病対策」和泉眞藏『からだの科学』(187)98-102

「第二次大戦末期の Deng 熱流行時における人体実験」上野陽里『医学史研究』(70)37-44

「混合性結合組織病 診断と治療の進歩 概念誕生の背景とその歴史」粕川禮司『日本内科学会雑誌』85(8)1191-1195

「骨髓異形成症候群(MDS) その概念の歴史の変遷」喜多嶋康一、高橋功『日常診療と血液』6(10)1236-1238

「肺結核の歴史」蔵方宏昌『JMC』(59)24-25

「江戸の花柳病」酒井シヅ『日経メディカル』(9月臨時増刊号)78-83

「日本のアレルギー戦後50年の発展 花粉アレルギー」信太隆夫『アレルギーの臨床』16(2)125-130

「平安朝物語類の中の医学(三)」白崎昭一郎『北陸医史』17(1)74-79

「本邦腎臓学研究史の中から」杉野信博『大塚薬報』(507)56-58

「熱海 嚙気館(抄)」尺次郎『神奈川医学会雑誌』23(1)161-162

「ペスト残影その5：伝説「鼠捕り男」を感染症学から検討すると(抄)」滝上正『神奈川医学会雑誌』23(2)396-397

「実験的口腔癌の歴史的考察及びハムスター頬嚢粘膜の化学発癌について」中島潤子『防衛衛生』43(9)327-335

「痛風」という病名の歴史」中村昭『高尿酸血症と痛風』4(2)73-80

「西洋・中国・日本のジフテリア素描 その2 近世」中村昭『日本医史学雑誌』42(3)369-388

「胃内自律神経研究の歴史」中村正彦、秋葉保忠、織田正也、他『消化性潰瘍 臨床と基礎』15(1)29-38

「F.ファルハルトとネフローゼ症候群」深瀬泰旦『小児看護』19(4)479

「脚気と抗脚気ビタミンの研究史 高木兼寛から牧野堅まで」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』111(4)525-538

「日本のアレルギー戦後50年の発展 Molecular biology」眞

野健次『アレルギーの臨床』16(4)287-292

「サイトカイン発見の歴史」渡理英二、横室公三『BIO Clinica』11(3)216-219

24 耳鼻咽喉科史

「初期の副鼻腔X線診断(III) Kuttner, Herzfeld, またKuttner」飯沼壽孝『Johns』12(10)1542-1545

「特集 耳管をめぐって 耳管通気法の源流をたずねて」貝塚悠『Johns』12(3)403-406

「日本医科大学耳鼻咽喉科学教室」酒井シヅ『日本医科大学耳鼻咽喉科学教室百年史』1-13

25 種痘史

「種痘200年」石田純郎『岡山県小児科会報』(17)14-20

「一七二一年、ボストンにおける天然痘流行と人痘法の施行(抄)」小田泰子『日本医史学雑誌』42(2)218-219

「痘瘡絵と種痘」酒井シヅ『Clinician』43(447)4-7

「種痘二百年 1796-1996」長門谷洋治『大阪府医ニュース』(1968)12

26 獣医学史

「1850年までのオーストラリアの畜産業および獣医学の発展 The Growth of the Livestock Industries and the Veterinary Profession in Australia to 1850」FISHER, J. R.『日本獣医

- 史学雑誌』(33)53-58
- 「18世紀および19世紀におけるCLUJ(ルーマニア)での獣医学教育について(抄)」GHERUGARIU, S.『日本獣医史学雑誌』(33)63
- 「21世紀にも引続き応用される獣医学、一つの提案(抄)」LIN, J. H. /YAMADA, H. /ROGERS, P.A.M.『日本獣医史学雑誌』(33)11
- 「イランにおける家畜疾病対策に使われる伝統的方法(抄)」TADJIBAKHSH, H.『日本獣医史学雑誌』(33)8
- 「インドの獣医学(抄)」RISHENDRA, V.『日本獣医史学雑誌』(33)70
- 「インドの獣医学のルネッサンスと現代史(抄)」SINGH, B.『日本獣医史学雑誌』(33)73
- 「インドの獣医学の歴史(抄)」SINGH, M. P.『日本獣医史学雑誌』(33)7
- 「インドハリヤーナ地方の伝統的獣医術(抄)」KAHNNA, B.M. / SINGH, Y.P. / SINGH, R.P.『日本獣医史学雑誌』(33)73
- 「ウーン獣医科大学における有蹄類整形診療所の設立(抄)」KNEZEVIC, P. F.『日本獣医史学雑誌』(33)62
- 「古代および中世のインドの獣医学(抄)」KALRA, S. K.『日本獣医史学雑誌』(33)71
- 「中央及び東部ヨーロッパのいくつかの国における獣医学教育(抄)」VARGA, G. /CABADAJ R. / FREUYO, L.『日本獣医史学雑誌』(33)64
- 「蹄鉄の歴史(抄)」COLLETO, L.『日本獣医史学雑誌』(33)101
- 「西ヨーロッパにおける獣医学関係史料編纂の発展(抄)」MATHIJSEN, A.『日本獣医史学雑誌』(33)61
- 「日本の家畜飼養および獣医学の図による歴史(抄)」RONCALLI, R. A.『日本獣医史学雑誌』(33)65
- 「ニュージーランドにおける獣医業の歴史(抄)」SMITH, C. H. /SHORTRIDGE, E. H.『日本獣医史学雑誌』(33)9
- 「動物の死に対する記念碑(抄)」勝山脩『日本獣医史学雑誌』(33)68
- 「日本における獣医学の発展(抄)」勝山脩『日本獣医史学雑誌』(33)10
- 「第25回世界獣医学大会歴史部門に参加して(抄)」黒川和雄『日本獣医史学雑誌』(33)105-106
- 「獣医学教育における装蹄学の位置づけ(抄)」黒川和雄、多川政弘『日本獣医史学雑誌』(33)67
- 「為御褒美銀三枚被下置馬療書」(抄)白水完児『日本獣医史学雑誌』(33)69
- 「『仮名安驥集』にみる江戸前期馬医の瀉血療法」友部和弘、他『日本東洋医学雑誌』46(6)97
- 「日本馬医巻物について(抄)」村井秀夫、松尾信一『日本獣医史学雑誌』(33)66

27 書 簡

「森枳園宛の書簡類—伊沢柏軒・小島宝素・喜多村直寛・多紀元琰・元信等(抄)」町泉寿郎、小曾戸洋『日本医学史学雑誌』42(2)194-195

28 書 誌 学

「池田文書の研究(十四)—(十五)」池田文書研究会『日本医学史学雑誌』42(1,4)95-104, 603-613

「ブレンクに関する書誌学的考察」石田純郎『洋学資料による日本文化史の研究』(9)69-96

「西説内科撰要とその周辺」大滝紀雄『一滴 津山洋学資料館』(4)1-14

「丸山博著「森鷗外と衛生学」をめぐる読書のノート(下)」高橋実『医学史研究』(68)246-251

「『扶氏診断』と島村鼎甫訳の『扶氏診則』(上)」津下健哉『日本医事新報』(3744)63-65

「山本致美訳『扶氏診断』と島村鼎甫訳『扶氏診則』(抄)」津下健也『日本医学史学雑誌』42(2)224-225

「魯西亜国漂流人口書」平位周作『忠田会誌』(6)39-56

「高岡長崎家収蔵の『寥山翁方集』をめぐる一仮称『越中天明類聚方』—」正橋剛二『医譚』(70)4115-4137

「長崎浩斎稿『錢甥雜記』について」正橋剛二『医譚』(70)4105-4114

29 小 児 科 史

「臨床遺伝学の歴史と将来の展望」大倉興司『臨床遺伝研究』18(1~2)1-19

「身体発育研究史に関する基礎的研究(3)」瀧澤利行、他『民族衛生』62(付録)114-115

「こどもの医学史 重症下痢症とアシドーシス」深瀬泰旦『小児看護』19(2)217

「こどもの医学史 未熟児とその治療」深瀬泰旦『小児看護』19(3)349

「こどもの医学史 自己免疫病としての糖尿病」深瀬泰旦『小児看護』19(6)749

「こどもの医学史 トマス・パージヴェルの『医の倫理』」深瀬泰旦『小児看護』19(8)999

「こどもの医学史 手術承諾書の出現」深瀬泰旦『小児看護』19(10)1375

「小児期急性リンパ球性白血病の治療の歴史と現状及び課題」別所文雄『臨床血液』37(10)1013

「CCU その歴史と今後のあり方」本宮武司『Therapeutic Research』17(8)3211-3212

「本邦における小児てんかん外科の歴史と現状」森竹浩三、八田順子、松本吉史『小児の脳神経』21(1)1-7

30 神 経 学 史

「興奮性アミノ酸研究の歴史と現在の動向」篠崎温彦『神経

精神薬理』18(5)345-365

「知覚とその障害 症候学ならびに歴史的回顧」田中寛郷、濱田秀伯『精神科診断学』7(3)293-304

31 診断学史

「高脂血症診療ガイドライン 米国NCEPの歴史と評価」板倉弘重『The Lipid』7(2)150-155

「消化管内視鏡の歴史と展望」市岡四象『日本医師会雑誌』116(2)2-7

「高速・超高速イメージング 歴史的発展と技術的現状」巨瀬勝美『日本磁気共鳴医学会雑誌』16(6)227-233

「心電学研究の歴史をめぐって 心電計はどこまで小さく、かつ、軽く成り得るか？ 重機械からミリ・マシーンへの100年」岡島光治『心電図』16(3)297-300

「三次元画像処理技術の歴史」周藤安造『臨床放射線』41(11)1159-1165

「flow cytometers 歴史及び測定原理」Takarada Kaoru『Sysmex Journal International』6(1)83-90

「細胞診-癌診療における寄与と問題点 細胞診のシステム化 歴史的背景と問題点」田中昇『癌の臨床』42(9)881-885

「腫瘍マーカー研究の歴史と現況」松岡雄治『日本臨床』54(6)1479-1485

「動脈脈波の進歩 解説 歴史と展開」柳沼淑夫『循環器科』40(1)1-4

「CTによる冠動脈石灰化検出の意義 歴史的背景」渡辺滋、他『胸部CT検診』3(1)99-100

32 整形外科史

「結晶誘発性関節炎の視点 概念確立の歴史」岡崎太郎『高尿酸血症と痛風』4(1)19-26

「仮義肢制度の歴史的経緯」長尾竜郎『日本義肢装具学会誌』12(4)239-244

33 精神医学史

「精神病学教授榊俣申報（一八八八年より）『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(36)29

「精神病患者実験記事」（その7）『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(36)30-39

「精神病患者実験記事」（その8）（第9例、第二例追加、第15-17例）『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(37)20-32

「精神病患者実験記事」（その9）（第18-23例）『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(38)6-18

「クラフト・エービング教科書（疾患分類の部分）」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(37)1-7

「資料解題」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(36)40

「対談 竹村堅次先生にうかがう『私の生きた時代を背景とした精神科医療における個人的体験』『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(38)付録

『『民俗優生保護法案』』 荒川五郎『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(38)19-24

「Schizophreniaの訳語の歴史」岩館敏晴、牛島定信、大野裕、他『精神神経学雑誌』98(4)239-244

「児童青年精神科の臨床 障害者教育・福祉の歴史 根底に潜み続けた社会防衛論・社会効用論」小出進『こころの臨床ア・ラ・カルト』15(2)132-134

「明治期における精神病患者監護法制 私宅監置制度と精神病患者監護法」岡田昭夫『東京医科大学紀要』(22)93-110

「憑きもの再論(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』42(2)162-163

「日本における早発癡呆—「(精神)分裂病」概念の受容」岡田靖雄『日本医史学雑誌』42(1)3-27

「『裁判医学提綱』にみる「狂」の用語について(抄)」小曾戸明子『日本医史学雑誌』42(2)208-209

「精神歴史学と精神政治学の歴史と展望」小田晋『日本社会精神医学会雑誌』4(2)163-172

「『一本堂行餘醫言』巻之五(その二)—完結」香川修徳『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(36-38)1-17, 8-20, 1-5

「『精神病の薬物療法』(その一)」久保喜代二、光信幸『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(38)25-31

「Psycho-Oncology-がんと心身医学 サイコオンコロジーの歴史と概念」河野博臣『心身医学』36(4)283-290

「ラ・サルペトリエー LA SALPETRIERE (シャルコ生誕百周年記念出版)(その3)」斎藤徹『科学医学資料研究』(259) 1-8

「児童青年精神科の臨床 その歴史 自閉症協会発足当時のこと」東海敬『こころの臨床ア・ラ・カルト』15(2)135-137

「『我が国における精神衛生施策について』(上)」日本精神衛生会・日本精神病院協会『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(38)32-35

「『トリータイズ・オン・インサニティ』(1883年)より」ハモンド『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(36)18-28

「『ワッセルマン以前における進行麻痺の診断学』」原田憲一『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(37)33-37

「心身医学における精神分析の寄与 歴史的展望と今日的理解」松波聖治『心身医学』36(1)57-62

「精神病の治療史 疾病観と治療法」八木剛平、田辺英『精神神経学雑誌』98(9)603-611

35 西洋医学史

「クワックについて」石田純郎『岡山大学大学院文化科学研究紀要』(2)199-214

「ラトビア、ポーランド医療文化史の旅」石田純郎『医譚』(71)4199-4208

「中世の施療院から L'Hôtel-Dieu de Beauneの場合」永井廣『日本歯科医史学会々誌』21(3)135

「英国の国民保健サービスの歴史とその改革の行くえ」中西範幸、多田羅浩三『日本衛生学雑誌』51(3)657-665

「ヨーロッパにおける精神医学と政治」ホセ・M・コメレ

ス／北西潤子(訳)『科学医学資料研究』(265)1-7
「古代エジプトで開頭術が行われたか 自験例の再検討」森
本岩太郎『日本赤十字看護大学紀要』(10)1-11
「ノヴァラ号軍医 Edward Schwarz 博士の漢方薬蒐集〔遺稿〕」
安田純一『医譚』(70)4089-4094

37 生理学史

「脳循環機序を巡る歴史の変遷」後藤文男『脈管学』36
(9)551
「血液ガス測定の歴史」諏訪邦夫『呼吸』15(7)746-750
「ハーヴェイ以前の血液循環理論について(抄)」藤倉一郎
『日本医史学雑誌』42(3)437-438
「大脳生理学史余話」松本淳治『医学史研究』(69)21-27
「手法が確立するまで 血液カガスと呼吸管理の領域から
PEEP その歴史を飾る多彩な理論」丸川征四郎『呼吸と循
環』44(9)905-909

38 地方史

「北越戊辰戦争における富山藩関連病院・医師についてーと
くに金岡湊勝亮著『越後出張日誌』を中心にしてー」赤祖
父一知『北陸医史』17(1)46-66
「蝦夷地とロシアー北辺医史学の背景としての日露関係ー
(抄)」秋月俊幸『日本医史学雑誌』42(2)150-155
「幕末における千葉県の医療制度に関する考察(II) 佐倉藩の

医療制度改革3-4」石出猛史『千葉医学雑誌』72(2,4)121-
128, 225-233

「〈資料〉「築城全書名義解」(写本 国立公文書館蔵)につい
てー大野藩洋学館旧蔵の引用蘭書目ー」岩治勇一『奥越史
料』(25)97-111

「尾張藩医浅井家について」伊藤嘉紀『名古屋医史談話会開
放』(18)1-9

「北陸の民俗医療」今村充夫『北陸医史』17(1)1-6

「大野民間信仰医学」岩治勇一『福井産婦人科医報』(23)24

「広島原爆救護活動補遺(抄)」江川義雄『日本医史学雑誌』
42(2)216-217

「京都の眼科医たち」奥沢康正『啓迪』(14)27-32

「三重県志摩郡越賀における産婦保養所の歴史とその変遷」
坂口けさみ、他『日本看護研究学会雑誌』19(3)43-44

「札幌觀毒院について(抄)」島田保久、横田一郎、黒川一郎、
片岡是充、長瀬清、吉田信『日本医史学雑誌』42(2)274-275

「京都の医療史跡」杉立義一『日本胸部外科学会誌』(第44
回臨時増刊)1635-1656

「京都療病館ほか資料補遺」宗田一『啓迪』(14)13-16

「金沢大学医学部における解剖体法要に関する資料」寺畑喜
朔『北陸医史』17(1)12-22

「華岡青洲及び春林軒塾に関する岡山県内資料(抄)」中山沃、
石田純郎『日本医史学雑誌』42(2)228-229

「尾張藩・名古屋を中心とした江戸時代の医療の流れ(其の

二一三) 奈倉道治『現代医学』43-44(3, 1)629-632, 173-178
「仙台郷土研究 石川杏庵のこと一福沢諭吉らと渡米した湧谷の医師」西田耕三『仙台郷土研』19(2)
「四国農村医学会の20年 その歴史を振り返り農村医学の将来を展望する」坂東玲芳『日本農村医学会雑誌』44(6) 830-838
「『高岡詩話』にみる医史学的記述(下)」正橋剛二『北陸医史』17(1)30-45
「津軽における貞亨、元禄年間のケシ栽培の実態(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』42(2)192-193
「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その61-63)」森重孝『鹿児島市医報』35(3, 5, 7)43-46, 56-58, 46-48
「群馬県下に残る医療民族：咳止め信仰とその祈願様式についての考察(抄)」湯浅高行、藤野丑男、小林一日出、屋代正幸『日本歯科医学学会々誌』21(3)147
「開拓使時代の医療」吉田信『日本医史学雑誌』42(2)144-149

39 治療史

「治療の歴史 結核の化学療法」青柳昭雄『治療学』30(7) 841-844
「Bronchoalveolar Lavage 歴史と意義」泉孝英『呼吸』15(1) 85-89
「キナ伝説の里、チンチョンとチンチョン伯爵夫人」泉彪之助『日本医史学雑誌』42(4)581-588
「チンチョン伯爵夫人とキナ渡米伝説(抄)」泉彪之助『日本

医史学雑誌』42(2)202-203

「医学史随想 乳癌ホルモン療法の発祥」泉雄勝『乳癌の臨床』11(2)295-297
「ブラッドアクセスの歴史の変遷と今後の課題」太田和夫『臨床透析』12(7)787-794
「白血病治療の歴史と将来展望」小川一誠『治療学』30(10) 1187-1190
「経腸栄養の進歩と歴史」金田一彦『New Diet Therapy』12(3)116-122
「治療の歴史 心血管疾患におけるホスホジェステラーゼ阻害薬」清野精彦『治療学』30(11)1323-1327
「治療の歴史 利尿薬」越川昭三『治療学』30(6)729-735
「喘息治療の歴史と展望(4)-(7)」小林節雄『アレルギーの領域』3(3, 5, 7, 10)348-350, 612-615, 902-904, 1302-1304
「在宅治療の歴史的背景と現状」城谷典保、亀岡信悟『Medical Practice』13(臨時増刊)54-57
「換気補助療法の歴史と現在の評価 逆転の歴史」諏訪邦夫『呼吸と循環』44(5)493-497
「成長ホルモン療法の歴史」諏訪城三『小児内科』28(3) 317-322
「緩和ケアとは何か 歴史,現在,これから」武田文和『臨床看護』22(13)1837-1841
「模型肺開発の歴史的背景と現在」土肥俊之『模型肺』(19)49-53
「中国一六世紀以前の瀉血療法(抄)」友部和弘、真柳誠『日

- 本医史学雑誌』42(2)184-185
- 「治療の歴史 糖尿病に合併する動脈硬化症の成因解明とその予防と治療」中井継彦『治療学』30(5)613-618
- 「欧米における自然医学の歴史 振替医学としてのオステオパシー」中島文保『マニピュレーション』11(2)52-55
- 「欧米における自然医学の歴史 振替医学としてのカイロプラクティック」中島文保『マニピュレーション』11(3)90-94
- 「欧米における自然医学の歴史 振替医学としてのナチュロパシー」中島文保『マニピュレーション』11(4)90-93
- 「抗リウマチ薬の開発とその臨床評価 抗リウマチ薬開発の歴史」橋本明『臨床薬理』27(1)363-364
- 「江戸時代の在宅医療(3)、(4)」昼田源四郎『在宅医療』3(2-3)65-68, 51-55
- 「治療の歴史 脳梅毒による痴呆の発熱療法」廣瀬貞雄『治療学』30(9)1071-1074
- 「中世における瀉血(抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』42(2)186-187
- 「わが国における透析医療の歴史」前田貞亮『大塚薬報』(506)54-58
- 「治療の歴史 サイトカンの臨床応用」増子佳世、西岡久寿樹『治療学』30(1)117-120
- 「日本における抗菌療法 歴史的考察」Mitsuhashi Susumu, Iyobe Shizuko, Inoue Matsuhisa『Journal of Infection and Chemotherapy』1(3)153-165
- 「癌治療の歴史と将来の展望 膵臓癌に対する広範囲の手術」Miyazaki Itsuo, Ueno Keiichi, Nagakawa Takukazu『Hokkaido University Medical Library Series』35, 243-249
- 「日赤通俗救急処置について」向井康子、山口秀紀、渋谷鉦、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』21(3)137
- 「日本における衛生害虫用薬剤としてのジクロロボスの有用性 ジクロロボス製剤使用の歴史」武衛和雄『生活と環境』41(7)16-18
- 「透析医学 腎性骨異常栄養症のビタミンD治療の歴史」森井浩世『大塚薬報』(513)56-58
- 「透析医学の歴史」森井浩世、井上隆、松下義樹、他『大塚薬報』(505)52-55
- 「民間急救療法(抄)」谷津三雄、渋谷鉦『日本医史学雑誌』42(2)264-265
- 「治療の歴史 アミオダロン」山口巖『治療学』30(4)497-500
- 「抗菌薬開発の歴史と耐性菌の変遷」山口惠三『Therapeutic Research』17(10)3709-3716
- 「アニマル・アシステッド・セラピー その歴史・定義・分類」横山章光『こころの臨床ア・ラ・カルト』15(4)357-361
- 「日本における作業療法の歴史(抄)」吉見契子、鈴木明子『日本医史学雑誌』42(2)266-267

40 伝 記

「赤城信一について(第1報)(抄)」上田智夫、小竹英夫、宮

下舜一『日本医史学雑誌』42(2)272-273
「わが国で最初の洋式病院を開いたルイス・デ・アルメイダ」
前田宏明『メディアサークル』41(2)83-87
「猪狩三等軍医墓誌銘—その空白と所在—」森富『鷗外』
(58)1-5
「石黒忠恵「懐旧九十年」戊辰と昭和—労研図書館：近・現代史資料めぐり〈その6〉」野沢浩『労働の科学』51(9)
614-615
「石黒忠恵「懐旧九十年」戊辰と昭和(続)—労研図書館：近・現代史資料めぐり〈その7〉」野沢浩『労働の科学』
51(10)682-683
「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 14 日本植物学の始祖伊藤圭介」『Medical Tribune』29(29)24
「平成7年度津山洋学資料館特別展報告 わが国最初の理学博士伊藤圭介の博物学」『一滴 津山洋学資料館』(4)73-87
「医師岩崎鼎吾の戦中日誌」齊藤尚武(岩崎達氏)『東風』
34(3.4)1-24
「英医ウイリスと久留米藩—薩摩と中山家—」中山茂春『忠田会誌』(6)18-38
「先達医家の肖像〈64〉Bartolomeo Eustachio(1515頃-1574)」酒井シツ『Medical Digest』(340)巻末
「江口襄の欧州行記事および履歴書」小関恒雄『医譚』(71)1-14
「鷗外の『題言』から見えてくるもの フリードリヒ・エス

テルレンを中心に」梶田昭『医学史研究』(68)232-235
「人・土地・業績 Ludwig Edinger(1855-1918)」古川哲雄『神経内科』44(6)570-575
「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 13 詩人木下杢太郎こと太田正雄」『Medical Tribune』29(27)20
「太田正雄(木下杢太郎)の医学ノートについて(抄)」黒川一郎、島田保久、吉田信『日本医史学雑誌』42(2)258-259
「病める者と医する者 大塚敬節先生に学びしこと」藤井美樹『日本東洋医学雑誌』47(2)185-194
「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 21 九州大学を創設した大森治豊」『Medical Tribune』29(45)26
「洪庵と適塾の人びと」梅溪昇『日本公衆衛生雑誌』43(10特別附録I)47-49
「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 16 近代日本の英才を育成した緒方洪庵」『Medical Tribune』29(33)16
「『野口英世』伝の編纂者奥村鶴吉のこと」阿部俊男『ながはま(野口英世博士ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会)』(22)42-46
「奥村良筑吐方発明二百年記念会に関する資料」寺畑喜朔、奥村忠、長門谷洋治『医譚』(70)4095-4103
「『医語類聚』の著者 海軍大軍医奥山虎章」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』42(1)29-48
「『医語類聚』(奥山虎章)と Medical Lexicon (Robley Dunglison)(抄)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』42(2)204-205

「済生学舎と小比木信六郎」横川弘蔵『日本医科大学耳鼻咽喉科学教室百年史』15-54

「笠原白翁の今日的意義」白崎昭一郎『福井県医師会だより』(425)33-34

「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 12 種痘の普及に尽力した笠原良策」『Medical Tribune』29(25)40

「中国名医の足跡 二十九代続いた医家 何氏」吉田荘人『東洋医学』24(3)79-82

「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 11 日本住血吸虫を発見した桂田富士郎」『Medical Tribune』29(23)14

「人と時代 カハール先生のふるさとを訪ねて—I, II」生田房弘『ミクロスコピア』13(1-2)24-35, 76-83

「先達医家の肖像〈69〉Moritz Kaposi(1837-1902)」酒井シヅ『Medical Digest』(345)巻末

「ガレノス『魂の能力は身体の混合に依存する』—序論・翻訳・訳注—」土屋睦廣『明治薬科大学研究紀要』、51-94

「畏友故河崎屋三郎先生の遺徳を頌う」加藤豊明『北陸医史』17(1)80-83

「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 29 魏玉 璜」『漢方医薬新聞』(197)5

「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 22 公衆衛生の発展に貢献した北里柴三郎」『Medical Tribune』29(47)24

「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 23 虞搏」『漢方医薬新聞』(189)6

「『日本誌』(ケンベル)の図版について—館蔵各国語版と英訳版との図版の照合—」大村隆『ピブリア』(106)113-120

「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 21 江瓊」『漢方医薬新聞』(186)6

「対談 人間探訪—偉人たちの生と死—第6回古今亭志ん生と脳溢血」矢野誠一、酒井シヅ『ライフ』(6)1-3

「野口英世渡米初期の友 児玉信嘉」石原理年『ながはま(野口英世博士ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会)』(22) 26-32

「後藤新平研究(VIII) 帝都復興計画の基本構想」小野寺伸夫『医学史研究』(70)31-36

「対談 人間探訪 偉人たちの生と死 第八回 小林一茶と中風」金子兜太、酒井シヅ『ライフ』(8)1-3

「鍼灸老舗の人々(66-72)駒井一雄(1-7)」上地栄『医道の日本』55(6-12)205-208, 205-208, 189-192, 204-207, 186-189, 190-193, 210-213

「『報徳全書』に見る齋藤玄昌について—種痘接種の時期と年齢—」中野正人『壬生史考』(16)12-17

「佐伯理一郎と京都(七)—『普通看病学』について」長門谷洋治『啓迪』(14)17-25

「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 15 近代外科学の基礎を築いた佐藤三吉」『Medical Tribune』29(31)16

「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 9 「順天堂」を創始した佐藤泰然」『Medical Tribune』29(18)12

〔<90年代の訪問> (56)江戸東京博物館—シーボルト父子のみた日本—生誕200年記念企画展〕三浦豊彦『労働の科学』51(9)584-587

〔人と時代 シーボルト生誕二百年 ヴェルツブルク・ウィーン・長崎の記念碑をたずねて〕池田和彦『ミクروسコピア』13(4)244-257

〔ライデンにおけるフォン・シーボルト〕ヘルマン・ムースハルト『戸定論叢(松戸市戸定歴史館)』(2)

〔シーボルト生誕200年〕古川明『杉並区医師会雑誌』(2) 133-137

〔シーボルトコレクション 1-2〕大滝紀雄『神奈川県保険医新聞』(1338-1339)

〔シーボルト生誕200年に想う〕大滝紀雄『神奈川県保険医新聞』(1333)

〔1814年米国で発行されたBenjamin Jamesの啓蒙書の書誌学的研究 (抄)〕春日芳彦, 森山徳長, 本間孝『日本歯科医史学会々誌』21(3)160

〔新しい予防接種 I エドワード・ジェンナーの生涯と業績〕近藤均、酒井シヅ『小児科臨床』(別刷)

〔Edward Jennerの業績〕加藤四郎『臨床とウイルス』24(2)1

〔現代ウイルス学よりみたジェンナーの論文と伝記について (抄)〕加藤四郎『日本医史学雑誌』42(2)156-159

〔写真で見る Jennerの足跡と種痘〕加藤四郎『感染症』26(2)61-68

〔ジェンナーの『牛痘の原因および作用に関する研究』を読む〕深瀬泰旦『川崎市小児科医学会誌』(28)13-26

〔ジェンナーの種痘発明から200年(座談会)〕山崎修道、加藤四郎、蟻田功・橋爪壮・加藤達夫『感染症』26(2)45-60

〔ジェンナーをめぐる二、三の話題(抄)〕石田純郎『日本医史学雑誌』42(2)220-221

〔ノヴァア号軍医Eduard Schwarz博士の漢方薬蒐集 遺稿〕安田純一『医譚』(70)4089-4094

〔順天堂門人須田経哲とその周辺〕青木歳幸『日蘭学会会誌』21(1)23-36

〔中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 25 薛立齋〕『漢方医薬新聞』(192)6

〔追悼 宗田一先生〕長門谷洋治『医学史研究』(69)46

〔追悼 宗田一日本医史学会常任理事〕岩治勇一、寺畑喜朔、末中哲夫, 中川米造, 古西義麿, 岩井鉦治郎, 石田純郎, 半井英江『医譚』(71)23-34

〔宗田一先生の思い出〕真柳誠『漢方の臨床』43(9)99-101

〔中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 22 孫一奎〕『漢方医薬新聞』(187)5

〔日本の労働生理学の先駆者 高橋孝太郎〕松藤元『労働科学』72(6)227-238

〔古典あれこれ 箱館戦争でフランス医学と赤十字条約を実践した高松凌雲の生涯〕犬山征夫『Johns』12(5)708-715

〔高安病の発見者 高安右人(たかやす みきと)(1860~1938

年) 河崎一夫『日本眼科学会雑誌』100(臨増)120
 「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 8 日本初の医学博士田口和義」『Medical Tribune』29(16)14
 「医聖田代三喜の子孫」川島恂二『古河市医師会報』(28)
 「田邊一雄と複十字会活動(抄)」田邊正忠『神奈川医学会雑誌』23(1)162-164
 「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 20 心臓刺激伝導系を発見した田原淳」『Medical Tribune』29(42)16
 「レオナルド・ダビンチの人体解剖図に学ぶ」米山栄『医道の日本』55(6)209-212
 「『医心方』の編纂者丹波康頼 後漢靈帝後裔説、医学の師などを中心に」谷田伸治『漢方の臨床』43(5)965-976
 「天然痘撲滅の長い旅路 十三「陽だまりの樹」の主人公手塚良仙光亭」深瀬泰旦『JMS』(20)56-57
 「徳川昭武公の『順天堂入院日誌』について(第二報)(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』42(2)260-261
 「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 18 わが国近代薬学の父長井長義」『Medical Tribune』29(38)44
 「永坂石塚(周二)の小伝と日本整形外科への功績(抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』42(2)246-247
 「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 24 本土に先駆け牛痘種痘を行った仲地紀仁」『Medical Tribune』29(51)24
 「医聖永田徳本について」西條護『医道の日本』55(9)212-213
 「徳本を訪ねて」大友一夫『漢方の臨床』43(5)939-955

「中山忠直伝一現代漢方復興の恩人一」多留淳文『漢方の臨床』43(7)1485-1511
 「追悼 ジョセフ・ニーダム博士」塚原東吾『科学史研究』35(197)44-46
 「シャルル・ニコルの業績 発疹チフスとトキソプラズマの研究」海老沢功『熱帯』29(1~82)41-44
 「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 19 シーボルトの愛弟子二宮敬作」『Medical Tribune』29(40)14
 「石州浜田藩口中医二宮彦可について(抄)」上瀉口武、青笹好之、嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』21(3)157-158
 「帰国時における歓迎—新聞報道にみる野口英世博士」武田栄夫『ながはま(野口英世博士ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会)』(22)37-41
 「兄玉信嘉宛野口英世16書簡(抄)」石原理年『日本医史学雑誌』42(2)234-235
 「“済生学舎”と野口英世博士発見」小南長次郎『ながはま(野口英世博士ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会)』(22)49
 「デンマークの師・マッセン博士に宛てた野口英世の書簡(抄)」石黒達也『日本医史学雑誌』42(2)232-233
 「本学所蔵の野口英世の伝記について(その4)」矢ヶ崎康、他『松本歯学』22(2)226-227
 「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 5 細菌ハンター野口英世」『Medical Tribune』29(10)19
 「メキシコの野口英世」大滝紀雄『ながはま(野口英世博士

ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会』(22)48-49
「野口英世「物語」の発見」尾崎光弘『ながはま(野口英世博士ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会)』(22)2-11
「野口英世の伝記についての忘備録」枝重夫『ながはま(野口英世博士ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会)』(22)47
「先達医家の肖像〈67〉Samuel C F Hahnemann (1755-1843)」酒井シヅ『Medical Digest』(343)巻末
「ルイ・パストウールの画像と言葉(抄)」大村敏郎『神奈川医学会雑誌』23(2)396
「長岡の生んだ医学者・政治家長谷川泰伝(其の六)ー済生学舎廃校の歴史(後篇)」唐沢信安『長岡郷土史』(33)116-130
「シリーズ 名医の足跡を訪ねて6 全麻下乳癌手術を行った華岡青洲」『Medical Tribune』29(12)20
「特集ババンスキーと錐体路」『Brain Medical』8(4)
「罪なきババンスキーの足ゆびーInnocent Babinski's Toes in Art」豊倉康夫『Brain Medical』8(4)351-357
「ババンスキー徴候の歴史,生理学,臨床的意義」Gijn Jan van『Brain Medical』8(4)379-385
「ババンスキー徴候発見史」田代邦雄『Brain Medical』8(4)373-378
「ババンスキーとその時代」岩田誠『Brain Medical』8(4)359-366
「ババンスキーの症候群」古川哲雄『Brain Medical』8(4)367-372

「17世紀後半の日蘭医学ー原三信を中心に」酒井シヅ『日蘭のかけ橋』(11)80-91
「原田病発見と原田永之助博士の生涯」藤野貞『日本眼科学会雑誌』100(臨増)120
「ヒポクラテスと性感染症」齊藤博『日本性感染症学会誌』7(1)161-162
「ヒポクラテスについて 序説」園本厚『九大医学部同窓会誌学士鍋』(98)19-25
「卵管の発見者、ガブリエーレ・ファロッピオについて(抄)」藤田尚男『日本医史学雑誌』42(2)200-201
「先達医家の肖像〈65〉Johannes Andreas Grib Fibiger(1867-1928)」酒井シヅ『Medical Digest』(341)巻末
「Vogt夫妻」萬年甫『Clinical Neuroscience』14(3)354-356
「先達医家の肖像〈66〉Auguste Forel(1848-1931)」酒井シヅ『Medical Digest』(342)巻末
「Hans Bergerとうつ病(その2)」山口成良『北陸神経精神医学雑誌』9(1-2)59-60
「古典あれこれ クロード・ベルナルー血管運動神経の発見と内部環境の常性への着想ー」犬山征夫『Johns』12(3)408-414
「先達医家の肖像〈68〉Friedrich Gustav Jacob Henle(1809-1885)」酒井シヅ『Medical Digest』(344)巻末
「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 28 繆希雍」『漢方医薬新聞』(196)6

「マイモニデスの銅像・墓・ヘブライ語表記」泉彪之助『日本医史学雑誌』42(3)389-398

「蘭学者 牧穆中」福島和久『一滴 津山洋学資料館』(4)39-47

「増田隆先生の医史学的考察」奥沢康正『日本眼科学会雑誌』100(臨増)119

「追悼 松田方一先生」小松良夫『医学史研究』(69)45

「日本の脳研究者たち 松原三郎 1877-1936年」岡田靖雄『Brain Medical』8(3)325-328

「マルピーギの医学論」伊藤和行『日本医史学雑誌』42(1)49-59

「古典あれこれ メニエール病にその名を残した Prosper Meniere」犬山征夫『Johns』12(11)1686-1691

「科学技術の開拓者たち6 遺伝法則の発見者 グレゴア・ヨハン・メンデル」月澤美代子『科学技術ジャーナル』5(9)42-43

「William Thomas Green Morton」酒井シヅ『Clinical Neuroscience』14(5)595

「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 17 軍位最高位を極めた森鷗外」『Medical Tribune』29(36)24

「森鷗外作「なかじきり」解釈の試み—「医」に関する言及をめぐって(抄)」志田信男『日本医史学雑誌』42(3)442-443

「森鷗外のライブチックにおける衛生学研修(抄)」武智秀夫『日本医史学雑誌』42(2)238-239

「シリーズ 名医の足跡を訪ねて 10 人工瘻に初めて成功した山極勝三郎」『Medical Tribune』29(20)20

「鍼灸老舗の人々(64-65)山本新梧(17-18)」上地栄『医道の日本』55(4-5)203-206, 207-210

「吉益東洞『建珠録』に登場する越中の僧達 真宗僧侶の東洞医説受容の一形跡」寺澤捷年、土佐寛順、伊藤隆、他『日本東洋医学雑誌』46(5)735-746

「吉益東洞顕彰碑記」吉益東洞顕彰碑建設会 37

「吉村喜作博士とバビンスキー徴候(抄)」田代邦雄『日本医史学雑誌』42(2)210-211

「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 20 李贍」『漢方医薬新聞』(184)6

「レオナルド紀行—フィレンツェ、ミラノ、ローマ、マドリッド、ウインザー—(抄)」裾分一弘『日本歯科医史学会々誌』21(3)136

「中国歴代の名医肖像伝記 中国名医100人連載 24 樓全善」『漢方医薬新聞』(191)5

「アルブレヒト・フォン・ローレツの「皮膚病論一斑」(抄)」今泉孝『日本医史学雑誌』42(2)244-245

「お雇い外国人医学教師に関する洋学史的研究—Dr. Albrecht von Roretzに関する一考察—」小形利彦『岩手大学大学院人文社会科学研究所研究紀要』(3)1-9

「対談 人間探訪—偉人たちの生と死—第5回(ドイツオペラの巨匠)ワーグナーと狭心症」三枝成彰、酒井シヅ『ライフエ』(5)1-3

「野口博士の恩師・渡辺鼎小伝」田崎公司『ながはま(野口英世博士ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会)』(22)16-25

41 伝記(双)

- 「浅田宗伯と黄遵憲(抄)」陳捷『日本医史学雑誌』42(2)176-177
「第5回特別展に関する安藤文澤・太郎関係資料について」寺島正芳『研究紀要』(2)55-75
「宇田川玄随が江馬蘭齋に出した手紙—蘭齋が蘭学に入門した時—(1)」幸田正孝『津山洋学資料館友の会だより』(29)2-4
「エステルレンとウィルヒョウ—それぞれの十九世紀」梶田昭『医学史研究』(69)12-15
「『医則發揮』の著者河津省庵と門人山川揚庵」石原昂『日本医史学雑誌』42(4)659-660
「高坂駒三郎と旧蔵書簡—森鷗外書簡など(抄)」小田皓『日本医史学雑誌』42(2)236-237
「開国前後の日本における西洋英雄伝—小関三英と箕作阮甫のナポレオン伝—」岩下哲典『一滴 津山洋学資料館』(4)49-71
「小松緑と野口英世」中村澄夫『ながはま(野口英世博士ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会)』(22)32-36
「高岡長崎家と京都小石究理堂—医家門人帳研究余滴—」正橋剛二『医譚』(71)15-22
「高岡長崎家の子弟教育について—四代蓬州、五代浩齋を中心に—(抄)」正橋剛二『日本医史学雑誌』42(2)230-231
「高木兼寛先生と森林太郎—脚気予防・治療について—」中村政夫『福井県医師会だより』(420)22-23
「高山紀齋家について—池田家所蔵の古文書から—」横山好文『日本歯科医史学会々誌』21(3)143

- 「忠田所蔵書翰—広瀬家と忠田(一)」田中芳胤『忠田会誌』(6)
「パストゥールとメチニコフ」斎藤和久『感染・炎症・免疫』26(3)178-183
「二人の「徳本」、二冊の『梅花無尽蔵』」大友一夫『漢方の臨床』43(6)1303-1304
「お雇い医学教師ヘーデンの二人の血縁」蒲原宏『日蘭学会通信』(66)

42 伝染病史・防疫史

- 「北里柴三郎口述中川愛咲編纂「伝染病研究講義」の内容及びインフルエンザ菌の発見について(抄)」会田恵、田口文章『日本医史学雑誌』42(2)198-199
「フラカストロの伝染理論(抄)」伊藤和行『日本医史学雑誌』42(2)222-223
「予防接種の歴史」大谷明『小児科臨床』49(4)559-563
「医学における因果関係の推論 疫学での歴史的流れ」津田敏秀、馬場園明、三野善央、他『日本衛生学雑誌』51(2)558-568
「梅毒から性感染症」山本俊一『臨床と研究』(858)1485-1486
「疾病史の中のペスト(抄)」和気朗『神奈川医学会雑誌』23(2)397-399

43 東洋医学史

- 「医易の成立とその時代背景」飛見立郎『北陸医史』17(1)7-11

「韓国における二硫化炭素中毒とその社会的ならびに歴史的
背景」Lee Eunil(韓国)、Kim Soonduck, Kim Haejoon, 他
『Journal of Occupational Health』38(4)155-161

「第47回日本東洋医学学会学術総会、そして中国からの日本漢
方批判」秋葉哲生『漢方の臨床』43(6)1335-1339

「五行—中国古代医学の枠組み概念 其の二、其の三(抄)」
家本誠一『日本医史学雑誌』42(3)432-433, 434-435

「素問・靈枢に於ける血管及び血管病の記載について(抄)」
家本誠一『日本医史学雑誌』42(2)180-181

「淳于意伝記考(抄) 猪飼祥夫『日本医史学雑誌』42(2)166-167

「医療へのリンケージ 18 イスラム圏の成立後、アラブの民
俗医学ユナニが誕生」池上正治『ばんぼう』(1月)148-149

「医療へのリンケージ 19 ユナニ医学の成立前に光を放つメ
ソポタミア文明」池上正治『ばんぼう』(2月)138-139

「医療へのリンケージ 20 ペルシャを舞台とした古代の東西
交渉の光と影」池上正治『ばんぼう』(3月)140-141

「チベット医学の特徴と歴史背景」池上正治『マニピュレー
ション』11(2)22-26

「中国名医外伝(4)朱丹溪(朱震亨)伝」今村神鍼『医道の日本』
55(3)165-170

「中国名医外伝(5)黄帝(軒轅)伝—その1—」今村神鍼『医道
の日本』55(5)169-175

「中国名医外伝(6)竇黙伝(竇漢卿)」今村神鍼『医道の日本』
55(7)154-158

「中国名医外伝(7)李東垣(杲)伝」今村神鍼『医道の日本』
55(8)171-177

「中国名医外伝(8)金元鍼灸八家伝」今村神鍼『医道の日本』
55(11)182-185

「敦煌本『明堂経』の復元ならびに原『明堂経』に関する考
察」遠藤次郎、梁永宣『漢方の臨床』43(9)71-85

「『傷寒論』不可不可篇の研究(1)—処方を書いた条文に用いら
れている「宣」、「属証」、「与」の意義—」遠藤次郎、呂愛
平、中村輝子『漢方の臨床』43(12)79-92

「中国明代鍼灸補瀉手技における文献的研究」王財源、他
『日本東洋医学雑誌』46(6)169

「近現代における中国伝統医学の発展と問題」王鉄策『漢方
の臨床』43(5)1045-1054

「新発見の馬玄台『難経正義』(抄)」王鉄策、真柳誠、小曾
戸洋『日本医史学雑誌』42(2)172-173

「目でみる漢方史料館(102)新発見の馬玄台『難経正義』」王
鉄策、小曾戸洋『漢方の臨床』43(11)2042-2044

「東洋医学の歴史と現代」大塚恭男『日本東洋医学雑誌』47
(1)5-11

「『傷寒論』の「煎・熬」に対する、『方言』による解釈(抄)」
岡田研吉、郭秀梅『日本医史学雑誌』42(2)178-179

「杉山和一の屋敷と杉山流鍼灸講習所について(2)」香取俊
光『医道の日本』55(7)164-173

「韓国の伝統医学」金成俊『漢方の臨床』43(5)1035-1044

「西洋医学から見た漢方薬の使い方 漢方医学の歴史」小曾戸洋『臨床と研究』73(5)1030-1033

「中国医学古典と日本」小曾戸洋『日本東洋医学雑誌』46, 47(6, 2)51-52, 227-244

「目でみる漢方史料館(92)神農画賛—今村了庵・石黒忠恵・松本楓湖」小曾戸洋『漢方の臨床』43(1)2-4

「目でみる漢方史料館(97)中神琴溪の自賛肖像画二軸」小曾戸洋『漢方の臨床』43(6)1097-1100

「目でみる漢方史料館(99-100)湯本求真の処方箋(1), (2)」小曾戸洋『漢方の臨床』43(8, 9)1626-1628, 1786-1788

「目でみる漢方史料館(94)国宝・宋版『史記』の扁鵲倉公列伝」小曾戸洋、真柳誠『漢方の臨床』43(3)322-324

「敦煌古医籍に見る[肝]の治法について—《輔行訣臟腑用藥法要》と《宋版傷寒雜病論》の比較—」小高修司『漢方の臨床』43(4)149-164

「敦煌古医籍に則る「肺」の治法について」小高修司『漢方の臨床』43(11)31-39

「『大同類聚方』の問題点—同撰—について(抄)」後藤志朗『日本医史学雑誌』42(4)657-659

「『傷寒論』における煎じ方—大黃の濃縮度を中心に—」小根山隆祥、鈴木潮『漢方の臨床』43(11)49-58

「六君子湯の出典」小山誠次『漢方の臨床』43(9)10-28

「幕末以後の『医心方』半井家本」杉立義一『漢方の臨床』43(6)1229-1239

「古典からみた糖尿病の研究 『備急千金要方』より」須藤一『東洋医学』24(11)37-40

「室町時代より江戸初期までの灸技術について(抄)」角谷貞雄『日本医史学雑誌』42(3)435-436

「中国古代人体内景図に於ける脂膜、脂膜について(抄)」高島文一『日本医史学雑誌』42(2)170-171

「東西医学の融合の方法論」谷口悌示『医学史研究』(69)28-35

「ウエルカム医学史研究所[現代におけるアジア伝統医学]シンポジウム参加記」津谷喜一郎『漢方の臨床』43(2)284-289

「虚実相兼ねる治療について 内藤希哲『医経解惑論』」寺師睦宗『漢方の臨床』43(7)1446-1450

「東洋医学の教育、教科書について」長瀬千秋『漢方の臨床』43(4)717-720

「柴朴湯の歴史とその発展」中田敬吾『現代東洋医学』17(2)149-152

「疾病史から見た『傷寒論』(抄)」中村昭『日本医史学雑誌』42(4)660-662

「石原保秀先生の事跡」難波恒雄『漢方の臨床』43(6)151-168

「『医断』が世にでるまで」西岡一夫『漢方の臨床』43(4)721-736

「世界の伝統医学の興亡史」二本柳賢司『医学のあゆみ』178(12)895-899

「栗園医訓の解」長谷川弥人『漢方の臨床』43(5)115-137

- 「アーユルヴェーダの歴史とオイルマッサージ療法」平野永和『マニピュレーション』11(2)27-32
- 「傷寒論(仲景書)の心下痞堅と心下痞鞭の差異についての考察—各種古文獻の比較による傷寒論の条文の検討の試み—」牧角和宏『漢方の臨床』43(6)193-205
- 「陽微の脈は「瞥瞥」ではなく「へいへい」である 太平聖惠方卷八(高繼沖本傷寒論)と宋版傷寒論辨脈法・脉經卷四の比較検討より」牧角和宏『日本東洋医学雑誌』46(6)97
- 「小島宝素著・森立之写『河清寓記』釈読(上)(下)」町京寿郎『日本医史学雑誌』42(3, 4)399-410, 589-601
- 「目でみる漢方史料館(93)正倉院に現存する唐代8世紀前の薬物群」真柳誠『漢方の臨床』43(2)178-180
- 「目でみる漢方史料館(95)国宝、『新修本草』仁和寺本」真柳誠『漢方の臨床』43(4)474-476
- 「目でみる漢方史料館(96)伊沢蘭軒門下の『素問』研究—洪江抽斎筆『素問次注筆録』」真柳誠『漢方の臨床』43(5)786-788
- 「目でみる漢方史料館(98)前漢時代から出土した黒漆木製人形—はたして経絡人形か—」真柳誠『漢方の臨床』43(7)1386-1388
- 「目でみる漢方史料館(101)中国11世紀の医事風景—『清明上河図』より」真柳誠『漢方の臨床』43(10)1922-1924
- 「目でみる漢方史料館(103)江戸期の医事風景」真柳誠『漢方の臨床』43(12)2162-2164
- 「薬性論の検討(第5報) 宋以前の薬効記載における経絡表現と帰経・引経説の萌芽」真柳誠『日本東洋医学雑誌』46(6)98
- 「『清医胡兆新問答録』一八〇四年の中国医への問答報告書について—(抄)」真柳誠、郭秀梅『日本医史学雑誌』42(2)168-169
- 「多紀元堅の著述(抄)」真柳誠、郭秀梅『日本医史学雑誌』42(1)111-113
- 「『医心方』に記述される「経義解」の検討」真柳誠、沈澗農『日本医史学雑誌』42(3)349-368
- 「岸田吟香が中国で販売した日本関連の古医書(抄)」真柳誠、陳捷『日本医史学雑誌』42(2)164-165
- 「はじめての漢方診療 漢方医学の歴史と漢方薬の基礎知識」三瀧忠道『JIM』6(11)1013-1018
- 「『存真環中図』—『史記』幻雲附標所引文からの検討」宮川浩也『日本医史学雑誌』42(1)77-86
- 「谷野一栢著『難経抄』所引医書について(抄)」宮川浩也『日本医史学雑誌』42(2)174-175
- 「望診(察色)の文献的研究—『靈枢』を中心に」宮川浩也『漢方の臨床』43(5)977-989
- 「愛知医師流行評判鑑番附」矢数道明『漢方の臨床』43(7)1578-1579
- 「温知莊雑筆『啓迪集』周良策彦題辞の中の難解人名「丁林日」について」矢数道明『漢方の臨床』43(11)87-92
- 「多紀家関係の諸話題略記(抄)」矢数道明『日本医史学雑誌』

42(1)107-108

「尾州藩医柴田承慶翁とその家系について」矢数道明『漢方の臨床』43(4)737-739

「医学ことわざ日本と中国」山本徳子『医学史研究』(69)39-41

「ことわざ東洋医学(7)枇杷が黄になると医者は忙しい、橘子が黄になると医者は蔵れる、蘿蔔が上場すると医者は郷に回る」山本徳子『医道の日本』55(2)146-147

「ことわざ東洋医学(8)疾、膏肓」山本徳子『医道の日本』55(3)190-191

「ことわざ東洋医学(9-10)無恙—その1,2—」山本徳子『医道の日本』55(4-5)158-159, 176-177

「ことわざ東洋医学(11)良薬は口に苦し」山本徳子『医道の日本』55(6)190-191

「ことわざ東洋医学(12-13)七年の病に三年の艾を求む—その1、2」山本徳子『医道の日本』55(7, 8)178-179, 178-179

「ことわざ東洋医学(14)痛さ瘡に塩を灌ぐ」山本徳子『医道の日本』55(10)184-185

「ことわざ東洋医学(15)三たび肘を折りて良医たるを知る」山本徳子『医道の日本』55(11)188-189

「『中国医学通史』医史文物図譜巻について」吉田荘人『漢方の臨床』43(5)956-964

「中国文化における医学史 中国医学の源流 原始社会の医学」吉田荘人『東洋医学』24(7)73-76

「中国文化における医学史 中国医学の源流(2) 医学の起源に

ついで論争」吉田荘人『東洋医学』24(8)79-82

「中国文化における医学史 早期の医学と衛生」吉田荘人『東洋医学』24(9)78-81

「中国文化における医学史 医学理論の草創期」吉田荘人『東洋医学』24(10)82-84

「中国文化における医学史 著名な医者」吉田荘人『東洋医学』24(11)82-84

「中国医学と道教『紅樓夢』」吉元昭治『東洋医学』24(11)42-43

「中国伝統医学と道教(XVII)『三国演義』から(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』42(2)262-263

「伝統医学と現代医学の関係をめぐって—ヨーロッパの立場から—」H. Reissenweber『漢方の臨床』43(5)271-276

「漢代の医療技術について(抄)」和田裕一『日本医史学雑誌』42(2)182-183

44 内科史

「心房内粘液腫 検討された2症例の臨床病理学的関連性と歴史的考察」Roscher A.A.、他『薬理と臨床』6(5)914-915

「ヘリコバクターピロリ感染と胃十二指腸疾患ヘリコバクターピロリ研究の歴史」土屋雅春、鈴木雅之『Modern Media』42(7)275-279

「消化性潰瘍の心身医学 その歴史」中川哲也『消化器心身医学』3(1)1-6

「降圧療法の新しい展開 アンジオテンシンII受容体拮抗薬

の意義と役割 レニン・アンジオテンシン系研究の歴史」
宮崎瑞夫『Pharma Medica』14(11)81-86
「心電図研究の歴史をめぐって ベクトル心電図から心磁図
へ」森博愛『心電図』16(2)209-212

45 皮膚科史

「民俗医学ノートIV ワキガと耳垢」木津仁久『名古屋民俗』
(50)1-7
「歴史の中の皮膚疾患—幼い頃に痘瘡にかかり、晩年には肝
疾患からくる皮膚病変を示していたベートーヴェン」酒井
シヅ監修『PLUS ONE』3(2)12-13
「歴史の中の皮膚疾患—なぜマラーは入浴しながら人に会っ
ていたのか」酒井シヅ監修『PLUS ONE』3(4)12-13
「初期の皮膚科学における東大と京大(抄)」長門谷洋治『日
本医史学雑誌』42(2)242-243
「アトピー性皮膚炎の歴史と問題点」矢尾板英夫『日本皮膚
科学会雑誌』106(13)1665-1669
「日本のアレルギー戦後50年の発展 アトピー性皮膚炎」矢
尾板英夫『アレルギーの臨床』16(5)367-372

47 病院学

「特集：「戦後50年の医学と医療」これからの病院はどうな
るのか」小松良夫『医学史研究』(70)23-26
「日本におけるホスピスの歴史概要(1)、(2)」谷莊吉『医学

史研究』(69,70)16-20,27-30

「病院進化論 マンモス化と過適応の歴史」古川俊之『病院』
55(5)480-483

51 仏教医学史

「釈迦とキリストの患者の治療の実態について(抄)」杉田暉
道『日本医史学雑誌』42(2)214-215

52 法医学史

「北陸における法医学の源流(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑
誌』42(2)206-207

53 放射線医学史

「古典あれこれ 初期の副鼻腔X線診断」飯沼壽孝『Johns』
12(2)258-260
「古典あれこれ 初期の副鼻腔X線診断II—Goldmann &
Killian, Wasserman, Albrecht—」飯沼壽孝『Johns』12(7)
998-1000
「古典あれこれ 初期の副鼻腔X線診断III—Kuttner, Herzfeld,
またKuttner—」飯沼壽孝『Johns』12(10)1542-1545
「近代医療の幕開けと放射線技術 X線発見100周年に際し」
遠藤俊夫『学内集談会誌「翔」』(9)16-24
「未来医学事典 X線発見101年から」北寿一『未来医学』
(12)76-78

「Pierre, Marie Curie および Frederic, Irene Joliot-Curie 両
夫妻年表－Henri Becquerelの放射線発見100年に因ん
で－」山田光男『薬史学雑誌』31(1)116-121

54 本草学史・博物学史

「永楽屋東四郎の書簡と『草木図説』の出版過程」遠藤正治
『慾齋研究会だより』(75)1-8

「尾張藩薬園の成立と変遷」遠藤正治『日本医史学雑誌』42
(4)503-520

「『倭名類聚鈔』の“金漆樹”はカクレミノ樹である」寺田
晃『科学史研究』35(199)198-202

「大垣の蘭方薬舖の引札[精製薬種名品]」土井康弘『慾齋研
究会だより』(73)1

「植村左平次政勝の大和採薬行と駒場御薬園について」原桃
介『漢方の臨床』43(7)1513-1522

「天保期の本草研究会「楮鞭会」一前史と成立事情および活
動の実態一」平野満『駿台史学』(98)1-47

「伊吹山の薬草・植物年表」水野瑞夫(編)『慾齋研究会だよ
り』(73)2-7

「澁江長伯が蝦夷地で採集した植物標本について(抄)」山岸
喬『日本医史学雑誌』42(2)190-191

55 麻酔学史

「華岡青洲の麻酔法の普及について一福井藩橋本左内による手

術症例の検討」松木明知『日本医史学雑誌』42(3)289-302

57 薬学史

「『ウルユス弘方心得書』を読む(1)、(2)」岩井鉦治郎、野尻
佳世子、青木充夫『医学史研究』(68, 69)236-238, 36-38

「最初の洋式商品名を付けられたウルユスについて」岩井鉦
治郎、野尻佳与子、青木充夫『薬史学雑誌』31(1)41-48

「投与・投薬?一辞書を追って一」内林政夫『薬史学雑誌』
31(1)114-115

「ヨウ素一沃素」内林政夫『薬史学雑誌』31(2)227-229

「江戸時代の薬種屋」浦田耕作『啓迪』(14)6-12

「北陸の薬史・富山の売薬への洋薬の導入」大橋清信『薬史
学雑誌』31(2)160-164

「モグサの名所しめじが原について」織田隆三『薬史学雑誌』
31(1)60-66

「医療薬学の歩み」金久保好男『薬史学雑誌』31(1)108-113

「地黄の修治法と薬能に関する本草、医方書の史的考証」久
保道徳、松田秀秋、浅野年紀『薬史学雑誌』31(1)23-28

「放射化学」小嶋正治『薬史学雑誌』31(1)1-6

「富士山北麓の薬園と山論」酒井耕造『幕藩制社会の地域的
展開』(抜刷)

「医薬品の偏光顕微鏡分析」塩原仁子『薬史学雑誌』31(2)
235-238

「第32回国際薬史会議(パリ)に出席して」末廣雅也『薬史学

- 雑誌』31(1)122-127
- 「[外郎(ういろう)]について(1)－(3)」杉山茂『薬史学雑誌』31(1)74-80, 81-92, 93-95
- 「近世初期における地方医師の処方」杉山茂『薬史学雑誌』31(2)233-234
- 「日葡辞書に見られる薬種と薬剤(1)」杉山茂『薬史学雑誌』31(2)230-232
- 「薬剤学」瀬崎仁『薬史学雑誌』31(1)7-11
- 「日本の売薬 植林宗建『得生軒方函』(洋方)から」宗田一『医薬ジャーナル』32(4)223-226
- 「春日村における薬草仲買人・小寺甚五郎の記録(第1報)「買入帳」と「売上帳」高木朋美、田中俊弘『薬史学雑誌』31(2)200-203
- 「日本の薬学戦後50年史・衛生化学・公衆衛生学」高島英伍『薬史学雑誌』31(2)147-152
- 「近代日本医薬品産業の発展(その5)製薬企業のいわゆるプロパーからMRへ」竹原潤、山田久雄『薬史学雑誌』31(2)219-226
- 「伝統医学における糖を含む製剤の比較研究」中村輝子、遠藤次郎、馬麗亜沙克木『薬史学雑誌』31(1)12-22
- 「富山の薬業と反魂丹」難波恒雄『和漢薬研究所年報』22, 1-12
- 「北陸の薬史・なぜ富山に売薬業が起こったのかー反魂丹の謎ー」難波恒雄『薬史学雑誌』31(2)154-159
- 「第143回APhA(全米薬剤師会)総会&展示会「薬史・AIHP」部会参加印象記」船越清輔『薬史学雑誌』31(1)128-132
- 「アピセラピートシテのプロポリスと漢薬露蜂房の比較本草学的考察」松繁克道、門田重利、難波恒雄『薬史学雑誌』31(2)183-199
- 「ウイゲルの伝統医学で用いられている蒸露剤について」馬麗亜沙克木、中村輝子、遠藤次郎『薬史学雑誌』31(2)204-210
- 「シーボルトの処方集(2)」宮崎正夫『薬史学雑誌』31(1)49-59
- 「日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷(その9)一般成書に見られたカノコソウ(纈草)製剤の変遷」柳沢清久、山田光男、松本仁人『薬史学雑誌』31(1)29-40
- 「日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷(その10)カノコソウ(纈草)栽培の推移に関する一考察」柳沢清久、山田光男、松本仁人『薬史学雑誌』31(1)67-73
- 「日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷(その11)カノコソウ(纈草)の成分に関する各種研究論文から見た北海吉草の基原についての一考察」柳沢清久、山田光男、松本仁人『薬史学雑誌』31(2)211-218
- 「日本の薬学戦後50年史・薬学教育」山川浩司『薬史学雑誌』31(2)143-146
- 「明治期の薬学校史・金沢大学薬学部の歴史(新制大学に移行するまで)」山本讓『薬史学雑誌』31(2)166-170
- 「伝統売薬「ウルユス」について(1)」米田該典、前平由紀、A. H. M. Mawjood、岩井鑛治郎、野尻佳与子『薬史学雑誌』

31(1)96-102

「伝統売薬「ウルユス」について(2)」米田該典、前平由紀、岩井鑑治郎、野尻佳与子『薬史学雑誌』31(1)103-107

「緒方洪庵先生の薬箱とその内容薬物について」米田該典、前平由紀、緒方裁吉『薬史学雑誌』31(2)171-173

「緒方洪庵の薬箱とその生薬(1)「將軍」について」米田該典、前平由紀、A. H. M. Mawjood, 緒方裁吉『薬史学雑誌』31(2)174-177

「緒方洪庵の薬箱とその生薬(2)「旃那」について」米田該典、前平由紀、A. H. M. Mawjood, 緒方裁吉『薬史学雑誌』31(2)178-182

58 蘭学史

「住田文庫の「蘭東事始」について」『法政史論(法政大学大学院日本史学会発表)』(21)

「高見家歴史資料目録」刊行をめぐって」片桐一男『日蘭学会通信』(66)

「オランダ商館長の住友銅吹所見物と饗応・贈答(抄)」片桐一男『日本医史学雑誌』42(3)438-440

59 リハビリテーション関係史

「自立生活運動の歴史的経過と現状」中西正司『総合リハビリテーション』24(1)39-44

「日本における呼吸リハビリテーションの歴史と問題点」芳

賀敏彦『THE LUNG-perspectives』4(2)147-151

60 検査

「肺機能検査法と評価 スパイロメトリー測定機器からみた日本の歴史」佐々木孝夫『呼吸』15(6)633-636

「ランタン・テストの歴史とその存在価値」深見嘉一郎『視覚の科学』17(1)40-42

「超音波診断装置の歴史的な背景と原理、及び種類と特徴」福田守道、平田健一郎、名取博、他『臨床消化器内科』11(7)855-873

61 その他

「SLファミリーマウスの歴史 遺伝学的解析による」阿不江パタール、他『日本病理学会会誌』85(1)241

「栄養学啓蒙の歴史と展望」大磯敏雄『日本臨床栄養学会雑誌』18(3)41-42

「個人史研究におけるプライバシーの問題—検討していただくための試論—(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』42(1)115-117

「今月の誌上ギャラリー 病める子」酒井シヅ『循環科学』16(1)巻末

「今月の誌上ギャラリー アラビア医学」酒井シヅ『循環科学』16(2)巻末

「今月の誌上ギャラリー 4つの気質」酒井シヅ『循環科学』

16(3)卷末

「今月の誌上ギャラリー 薬剤師キリスト」酒井シヅ『循環科学』16(4)卷末

「今月の誌上ギャラリー 笑気」酒井シヅ『循環科学』16(5)卷末

「今月の誌上ギャラリー 脈診」酒井シヅ『循環科学』16(6)卷末

「今月の誌上ギャラリー 撫仏諸病の願掛 芳盛戯画」酒井シヅ『循環科学』16(7)卷末

「今月の誌上ギャラリー 薬の広告」酒井シヅ『循環科学』16(8)卷末

「今月の誌上ギャラリー アルプカシスとオランダミツバ(洋芹)」酒井シヅ『循環科学』16(9)卷末

「今月の誌上ギャラリー 焼艾(やいと)」酒井シヅ『循環科学』16(10)卷末

「今月の誌上ギャラリー レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖図」酒井シヅ『循環科学』16(11)卷末

「今月の誌上ギャラリー 薬屋」酒井シヅ『循環科学』16(12)卷末

「登山医学の歴史と現状,そして展望」中島道郎『臨床スポーツ医学』13(6)601-605

「医療と風土性に関する考察(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』21(3)147

誌』26(1)1-10

「功能性鼻内窺鏡手術発展簡史」蘇立衆・刑昌全『中華医史雜誌』26(1)11-13

「近代上海租界衛生史略」朱德明『中華医史雜誌』26(1)14-18

「上海近代西医医院概述」陸明『中華医史雜誌』26(1)19-26

「近代湖北国医専科学学校簡況」趙鴻云『中華医史雜誌』26(1)27-29

「清康熙皇帝采用人痘法の時間原因と試探」張嘉鳳『中華医史雜誌』26(1)30-32

「我国抗腫瘍藥物研究簡史」宋之琪・陳新謙『中華医史雜誌』26(1)33-38

「『医経八支』的初歩研究」巴・吉格木徳、色・娜仁、宝龍『中華医史雜誌』26(1)39-42

「中国与亜細安区域的医薬交流」陳鴻能『中華医史雜誌』26(1)43-49

「試論軍医崔氏及其學術成就」王三虎『中華医史雜誌』26(1)50-53

「『子儀本草』辨偽」尚志鈞『中華医史雜誌』26(1)54-55

「煉丹家本草『丹房鏡源』考略」王家葵『中華医史雜誌』26(1)56-59

「読『孫思邈「千金方」研究』」孫中堂・高文鏞『中華医史雜誌』26(1)60-62

「龍胆瀉肝湯の古今応用」趙秀榮『中華医史雜誌』26(1)10

「子宮輸卵管造影術簡史」劉金豊『中華医史雜誌』26(1)18

62 中国語文獻

「日本据台時期之台湾医学(下)」哈鴻潜・高田『中華医史雜

「最早的膏滋劑考」華浩明『中華醫史雜誌』26(1)26
「返博為約的『增補本草備要』」陳軍『中華醫史雜誌』26(1)29
「李時珍未任太醫院判考」郎需才·郎兵『中華醫史雜誌』26
(1)49
「『武威漢代醫簡』「用全」考釈」張麗君『中華醫史雜誌』
26(1)53
「中國歷代藥王及藥王廟探源」鄭金生『中華醫史雜誌』
26(2)65-72
「試論中醫學中心的形成和遷移」劉時覺『中華醫史雜誌』26
(2)73-78
「先秦傷科史略」李昂『中華醫史雜誌』26(2)79-83
「蒙汗藥初探」張宗棟『中華醫史雜誌』26(2)84-86
「中藏醫脈診法之比較」仲格加『中華醫史雜誌』26(2)87-89
「紀念伍連德醫學博士」趙璞初『中華醫史雜誌』26(2)90-92
「『急救仙方』考」樊建開·王有朋『中華醫史雜誌』26(2)93-96
「『万密齋醫學全書』版本源流考」毛德華『中華醫史雜誌』
26(2)97-102
「『達生編』及其作者考」賈治中·楊燕飛『中華醫史雜誌』
26(2)103-105
「『本草經集注』原名、卷數考」程軍『中華醫史雜誌』26(2)
106-108
「中醫院校醫史教育改革雜議」梁永宣『中華醫史雜誌』
26(2)109-111
「20世紀前半期的醫學」程之范『中華醫史雜誌』26(2)112-119

「評勞費爾博士『中國伊朗編』有關中國醫藥的幾個問題」何
愛華『中華醫史雜誌』26(2)120-126
「『中外醫藥保健民俗述略』評介」傅芳『中華醫史雜誌』26
(2)127-封底
「扁鵲積義」白興華『中華醫史雜誌』26(2)72
「『初學者入門』辨正」陸肇基『中華醫史雜誌』26(2)86
「水痘的歷史」甄橙『中華醫史雜誌』26(2)96
「『八萬尸虫』与『八萬戶虫』」李勤璞『中華醫史雜誌』
26(2)108
「『陽明』考」韓建平『中華醫史雜誌』26(2)111
「『武威漢代醫簡』「盼膊」考」張麗君『中華醫史雜誌』
26(2)119
「近代嘉定中醫團體發展史料」張勝忠『中華醫史雜誌』26
(2)126
「中國醫學史研究60年」李經緯·張志斌『中華醫史雜誌』26
(3)129-136
「中華醫學會史學會60年」朱建平『中華醫史雜誌』26(3)137-
146
「醫學專科史研究60年」趙石麟『中華醫史雜誌』26(3)147-
151
「疾病史研究60年」靳士英『中華醫史雜誌』26(3)152-161
「中國古代醫學史研究60年」傅芳『中華醫史雜誌』26(3)162-
168
「中國中醫教育史研究60年」盛亦如『中華醫史雜誌』26(3)

170-178
 「中国军事医学史研究60年」 龚纯 『中华医史雜誌』 26(3)
 179-185
 「中国薬学史研究60年」 宋之琪 『中华医史雜誌』 26(3)186-
 192
 「一份与薬物産地有関の珍貴歴史資料」 喬健・馬濟斌 『中華
 医史雜誌』 26(3)146
 「張從正著作考」 劉道清 『中華医史雜誌』 26(3)169
 「我国的世界医学史研究」 程之范・張大慶 『中華医史雜誌』
 26(4)193-196
 「『中華医史雜誌』 50年歷程」 陸肇基 『中華医史雜誌』 26(4)
 197-202
 「60年来中国近代医史研究」 甄志亜 『中華医史雜誌』 26(4)
 205-211
 「中国医学哲学發展60年」 張文・問永寧・邱陶 『中華医史雜
 誌』 26(4)212-219
 「中国少数民族医史研究60年」 蔡景峰・洪武娵 『中華医史
 雜誌』 26(4)220-224
 「60年来的中国医学史博物館」 傅維康 『中華医史雜誌』
 26(4)225-230
 「中国法医学史研究60年」 賈静濤 『中華医史雜誌』 26(4)
 231-237
 「清代的中薬店老字号」 陳新謙 『中華医史雜誌』 26(4)238-
 244

「張景岳中医精神病学思想初探」 黄健・郭麗娃 『中華医史雜
 誌』 26(4)245-247
 「參觀琴納博物館—紀念琴納發明牛痘200周年」 馬伯英 『中
 華医史雜誌』 26(4)248-250
 「「神農秤」質疑」 仝 小林・崔勿驕・崔新育・王君 『中華医
 史雜誌』 26(4)251-252
 「陳士鐸『洞垣全書初考』」 職延広・侯美玉 『中華医史雜誌』
 26(4)253-254
 「人痘接種在美国」 張天莉 『中華医史雜誌』 26(4)196
 「馬王堆医書藥名「汾困」試考」 張顯成 『中華医史雜誌』
 26(4)204
 「寶材考」 張宗棟 『中華医史雜誌』 26(4)230
 「近代中医薬学伝入拉丁美洲小史」 朱德明 『中華医史雜誌』
 26(4)250
 「『五十二病方』「取石大如拳」思辨」 孫啓明 『中華医史雜誌』
 26(4)封三

64 欧文文献

ABEL, E K/ REIFEL, N: Interactions between Public Health
 Nurses and Clients on American Indian Reservations during
 the 1930s : So. Hist. Med.: 9(1)89-108
 ANDERSON, Warwick: Race and Acclimatization in Colonial
 Medicine: Disease, Race, and Empire: Bull. Hist. Med. : 70
 (1) 62-67

- ANDERSON, Warwick : Race and Acclimatization in Colonial Medicine : Immunities of Empire : Disease, and the New Tropical Medicine, 1900-1920: Bull. Hist. Med. : 70(1)94-118
- AUGSTEIN, Hannah F: J C Prichard's Concept of Moral Insanity-a Medical Theory of the Corruption of Human Nature: Medical History: 40(3)311-343
- BALINSKA, Marta A: The National Institute of Hygiene and Public Health in Poland 1918-1939:So. Hist. Med. : 9(3)427-445
- BALL, R/ WILD, A: Der Botaniker Camill Montfort (1890-1956) und sein Werk: Sudhoffs Archive: 80(1)68-77
- BRADLEY, J/ CROWTHER, A/ DUPREE, M: Mobility and Selection in Scottish University Medical Education, 1858-1886: Medical History: 40(1)1-24
- BRASLOW, Joel T: In the Name of Therapeutics: the Practice of Sterilization in a California State Hospital:J. Hist. Med. Allied Sci.: 51(1)29-51
- BRASLOW, Joel T: The Influence of a Biological Therapy on Doctor's Narratives and Interrogations: the Case of General Paralysis of the Insane and Malaria Fever Therapy, 1910-1950:Bull. Hist. Med.: 70(4)577-608
- BRYDER, Linda: "A Health Resort for Consumptives" : Tuberculosis and Immigration to New Zealand, 1880-1914: Medical History: 40(4)453-471
- BURNHAM, John C:How the Concept of Profession Evolved in the Work of Historians of Medicine:Bull. Hist. Med.: 70(1)1-24
- CHERRY, Steven: Accountability, Entitlement, and Control Issues and Voluntary Hospital Funding c1860-1939: So. Hist. Med.: 9(2)215-233
- CONDRAU, Flurin: Demokratische Bewegung, Choleraepidemie und die Reform des öffentlichen Gesundheitswesens im Kanton Zürich (1867): Sudhoffs Archive: 80(2) 205-219
- CONTREPOIS, Alain: Towards a History of Infective Endocarditis: Medical History: 40(1)25-54
- CROWTHER, A/ DUPREE, M: The Invisible General Practitioner: the Careers of Scottish Medical Students in the Late Nineteenth Century: Bull. Hist. Med.: 70(3)387-413
- CUETO, Marcos: Tropical Medicine and Bacteriology in Boston and Peru: Studies of Carrión's Disease in the Early Twentieth Century: Medical History: 40(3)344-364
- DAVIDSON, Luke: SSHM Prize Essay: 'Identities Ascertained': British Ophthalmology in the First Half of the Nineteenth Century:So. Hist. Med.: 9(3)313-333
- DAVIDSON, Roger: 'Searching for Mary, Glasgow': Contact Tracing for Sexually Transmitted Diseases in Twentieth-Century Scotland: So. Hist. Med.: 9(2)195-214

- DEMAITRE, Luke: The Relevance of Futility: Jordanus De Turre (fl.1313-1335) on the Treatment of Leprosy: *Bull. Hist. Med.*: 70(1)25-61
- DOWBIGGIN, Ian: Back to the Future: Valentin Magnan, French Psychiatry, and the Classification of Mental Diseases, 1885-1925: *So. Hist. Med.*: 9(3)383-408
- DUFFIN, J/ FALK, L A: Sigerist in Saskatchewan: the Quest for Balance in Social and Technical Medicine: *Bull. Hist. Med.*: 70(4)658-683
- DUMESIC, Daniel A: The Physician Automobilst: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 51(2)208-222
- ELDRIDGE, Larry D: "Crazy Brained": Mental Illness in Colonial America: *Bull. Hist. Med.*: 70(3)361-386
- ERNST, Waltraud: European Madness and Gender in Nineteenth-century British India: *So. Hist. Med.*: 9(3)357-382
- ESTES, J Worth: The Medical Properties of Food in the Eighteenth Century: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 51(2)127-154
- ESTES, J. Worth: American Association for the History of Medicine: Report of the Sixty-ninth Annual Meeting: *Bull. Hist. Med.*: 70(3)484-496
- FARRELL-BECK, J/ KIDD, L K: The Roles of Health Professionals in the Development and Dissemination of Women's Sanitary Products, 1880-1940: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 51(3)325-352
- FISCHER, K/ VON STADEN H: Ein angeblicher Brief des Herophilos an König Antiochos, aus einer Brüsseler Handschrift erstmals herausgegeben: *Sudhoffs Archive*: 80(1)86-98
- FISHER, J. R.: The Growth of the Livestock Industries and the Veterinary Profession in Australia to 1850: *Japanese Journal of Veterinary History*: (33)53-58
- FORSYTHE, B/ MELLING, J/ ADAIR, R: The New Poor Law and the County Pauper Lunatic Asylum-the Devon Experience 1834-1884: *So. Hist. Med.*: 9(3)335-355
- FÜRBETH, Frank: Der 'Tractatus de balneis Germaniae' des Caspar Schober (um 1530): *Sudhoffs Archive*: 80(2)150-166
- GALVÃO-SOBRINHO, Carlos R: Hippocratic Ideals, Medical Ethics, and the Practice of Medicine in the Early Middle Ages: the Legacy of the Hippocratic Oath: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 51(4)438-455
- GIJSWIJT-HOFSTRA, Marijke: Homeopathy's Early Dutch Conquests: the Rotterdam Clientele of Clemens von Bönninghausen in the 1840s and 1850s: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 51(2)155-183
- GILLIS, Jonathan: Bad Habits and Pernicious Results: Thumb Sucking and the Discipline of Late-Nineteenth-Century Paediatrics: *Medical History*: 40(1)55-73

- GROSS, Dominik: Berufsvererbung und soziale Herkunft der württembergischen Wundärzte im 19. Jahrhundert: Sudhoffs Archive: 80(1)38-55
- HAMLIN, Christopher: Edwin Chadwick, "Mutton Medicine," and the Fever Question: Bull. Hist. Med.: 70(2)233-265
- HARRISON, Mark: Medicine and the Culture of Command: the Case of Malaria Control in the British Army during the Two World Wars: Medical History: 40(4)437-452
- HARRISON, Mark: Race and Acclimatization in Colonial Medicine: "The Tender Frame of Man": Disease, Climate, and Racial Difference in India and the West Indies, 1760-1860: Bull. Hist. Med.: 70(1)68-93
- HIGGS, Edward: The Statistical Big Bang of 1911: Ideology, Technological Innovation, and the Production of Medical Statistics: So. Hist. Med.: 9(3)409-426
- HILL, Patricia E: Invisible Labours: Mill Work and Motherhood in the American South: So. Hist. Med.: 9(2)235-251
- HUDDLE, Thomas S: Competition and Reform at the Medical Department of the University of Pennsylvania, 1847-1877: J. Hist. Med. Allied Sci.: 51(3)251-292
- JEONG, WY: Prospect and Development of Oriental Medicine in Korea: Journal of Hyungok Academic Society: 1(2)57-82
- KAKAR, Sanjiv: Leprosy in British India, 1860-1940: Colonial Politics and Missionary Medicine: Medical History: 40(2) 215-230
- KAMMINGA, H/ WEATHERALL, M W: The Making of a Biochemist I: Frederick Gowland Hopkins' Construction of Dynamic Biochemistry: Medical History: 40(3)269-292
- KARLA, S.K.: Veterinary Science in Ancient and Medieval India: Japanese Journal of Veterinary History: (33)79-90
- KATSUYAMA, O.: Development of Veterinary Medicine in Japan: Japanese Journal of Veterinary History: (33)37-40
- LABISCH, Alfons: Geschichte, Sozialgeschichte und Soziologie der Medizin: Ein imaginäres Streitgespräch mit Christian Probst: Sudhoffs Archive: 80(1)1-27
- LIN, J. H./ YAMADA, H. / ROGERS, P.A.M.: A Sustainable Veterinary Medicine for the 21st Century: A Proposal: Japanese Journal of Veterinary History: (33)41-52
- LOKHORST, Gert-Jan C: The First Theory about Hemispheric Specialization: Fresh Light on an Old Codex: J. Hist. Med. Allied Sci.: 51(3)293-312
- MADISON, Donald L: Preserving Individualism in the Organizational Society: "Cooperation" and American Medical Practice, 1900-1920: Bull. Hist. Med.: 70(3)442-483
- MATHIJSSEN, A.: Development of Veterinary Historiography in the Western World: Japanese Journal of Veterinary History: (33)75-78

- MAZUMDAR, Pauline M H: Two Models for Human Genetics: Blood Grouping and Psychiatry in Germany between the World Wars: *Bull. Hist. Med.*: 70(4)609-657
- MELDRUM, Marcia L: "Simple Methods" and "Determined Contraceptors": the Statistical Evaluation of Fertility Control, 1957-68: *Bull. Hist. Med.*: 70(2)266-295
- PANTIN, C G: A Study of Maternal Mortality and Midwifery on the Isle of Man, 1882 to 1961: *Medical History*: 40(2)141-172
- POWER, Helen: The Calcutta School of Tropical Medicine: Institutionalizing Medical Research in the Periphery: *Medical History*: 40(2)197-214
- REICHMAN, E/ ROSNER, F: The Bone Called Luz: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 51(1)52-65
- RIHA, Ortrun: Subjektivität und Objektivität, Semiotik und Diagnostik. Eine Annäherung an den mittelalterlichen Krankheitsbegriff: *Sudhoffs Archive*: 80(2)129-149
- ROELCKE, Volker: Wir rücken Schritt vor Schritt dem Tollhause näher...: "Das moderne" Leben und die Nervenkrankheiten bei Johann Christian Reil(1759-1813): *Sudhoffs Archive*: 80(1)56-67
- ROSNER, Fred: Moses Maimonides and Preventive Medicine: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 51(3)313-324
- RUPKE, Nicolaas A:Humboldtian Medicine:*Medical History*: 40(3)293-310
- RÜTTEN, Thomas: Receptions of the Hippocratic Oath in the Renaissance: the Prohibition of Abortion as a Case Study in Reception: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 51(4)456-483
- SALMÓN, Fernando: Sources for a Galenic Visual Theory in Late Thirteenth Century: *Sudhoffs Archive*: 80(2)167-183
- SCHÄFER, Johann: „A us der Flanke geboren” -Die Diskussion um den “Kaiserschnitt” beim Tier im Talmud: *Sudhoffs Archive*: 80(2)198-204
- SCHWIESO, Joshua J: ‘Religious Fanaticism’ and Wrongful Confinement in Victorian England: the Affair of Louisa Nottidge: *So. Hist. Med.*: 9(2)159-174
- SHACKELFORD, Jole: Rosicrucianism, Lutheran Orthodoxy, and the Rejection of Paracelsianism in Early Seventeenth-Century Denmark: *Bull. Hist. Med.*: 70(2)181-204
- SINGH, M.P.: History of Veterinary Medicine in India: *Japanese Journal of Veterinary History*:(33)13-17
- SINGH, B.: Renaissance and Modern History of Veterinary Science in India:*Japanese Journal of Veterinary History*: (33)91-97
- SMITH, C. H./ SHORTRIDGE, E. H.: The History of the Veterinary Profession in New Zealand: *Japanese Journal of Veterinary History*:(33)28-36
- SMITH, Dale C: The Hippocratic Oath and Modern Medicine:

- J. Hist. Med. Allied Sci.: 51(4)484-500
- SMITH, Dale C: Appendicitis, Appendectomy, and the Surgeon: Bull. Hist. Med.: 70(3)414-441
- TADJBAKHS, H.: Traditional Methods Used for Controlling Animal Diseases in Iran: Japanese Journal of Veterinary History:(33)18-27
- TENNANT, Margaret: Children's Health Camps in New Zealand: the Making of a Movement, 1919-1940: So. Hist. Med.: 9(1)69-87
- VALLGÅRDA, Signild: Hospitalization of Deliveries: the Change of Place of Birth in Denmark and Sweden from the Late Nineteenth Century: Medical History: 40(2)173-196
- VELDEN, Henk van der: The Dutch Health Services before Compulsory Health Insurance, 1900-1941: So. Hist. Med.: 9(1)49-68
- VOLLMUTH, Ralf: War Klaus von Matrie der Lehrer Hans von Gersdorffs ? : Sudhoffs Archive: 80(1)109-117
- VON STADEN, Heinrich: "In a Pure and Holy Way": Personal and Professional Conduct in the Hippocratic Oath: J. Hist. Med. Allied Sci.: 51(4)404-437
- WEATHERALL, M W/ KAMMINGA, H: The Making of a Biochemist II : the Construction of Frederick Gowland Hopkins' Reputation: Medical History: 40(4)415-436
- WEATHERALL, Mark W: Making Medicine Scientific: Empiricism, Rationality, and Quackery in Mid-Victorian Britain: So. Hist. Med.: 9(2)175-194
- WEAVER, Bill L: Survival at the Alabama Insane Hospital, 1861-1892: J. Hist. Med. Allied Sci.: 51(1)5-28
- WELSHMAN, John: Growing Old in the City: Public Health and the Elderly in Leicester, 1948-74: Medical History: 40(1)74-89
- WELSHMAN, John: Physical Education and the School Medical Service in England and Wales, 1907-1939: So. Hist. Med.: 9(1)31-48
- WELSHMAN, John: In Search of the 'Problem Family': Public Health and Social Work in England and Wales 1940-70: So. Hist. Med.: 9(3)447-465
- WILHELM, Hans R: Eugen Bleuler und Carl Gustav Jung's Habilitation: Sudhoffs Archive: 80(1)99-108
- WILLIAMS, Elizabeth A: Medicine in the Civic Life of Eighteenth-Century Montpellier: Bull. Hist. Med.: 70(2)205-232
- WILSON, Leonard G: The Gorilla and the Question of Human Origins: the Brain Controversy: J. Hist. Med. Allied Sci.: 51(2)184-207
- WOODS, Robert: Physician, Heal Thyself: the Health and Mortality of Victorian Doctors: So. Hist. Med.: 9(1)1-30